

第20回

東京玉翠会

来まい、食べまい、話しまい。



NATSUKASHII FURUSATONO TABEMONO MATSURI

20年目の玉翠祭

平成14年7月13日(土)午後4時～6時
東京プリンスホテル「鳳凰の間」

目次

◆ テーマ「来まい、食べまい、話しまい。20年目の玉翠祭」	2
◆ 式次第	3
◆ 平成13年度収支決算書(案)	4
◆ ごあいさつ	
○ 玉翠会会長 多田野 久	5
○ 高松高等学校校長 溝渕 利博	6
○ 東京玉翠会会長 辻 義文	7
◆ 特集1 東京玉翠会の歩み	
○ 座談会【東京玉翠会発足当時の思い出】	8
○ 年譜【東京玉翠会の軌跡】	18
◆ 特集2 東京玉翠会第20回総会に寄せて	
○ 東京玉翠会誕生秘話(S26卒 河江 一仁)	24
○ 歌会始めに入選して～卒業50周年記念の年に思う(S27卒 工藤 政尚)	26
○ 幹事雑感(S40卒 末包 昭彦)	28
○ ひよんなことから幹事役に(S44卒 片山 秀樹)	30
○ 総会幹事を振り返って(S50卒 淵崎 正弘)	32
○ 力強く楽しい高高OBの輪の中に(神崎 幸子)	34
○ 交友抄(平成会Version)(H1卒 齊藤 利幸)	36
○ 『縁やけん、えんちやう』(H3卒 佐治 珠実)	38
◆ 特集3 来まい、食べまい、話しまい。20年目の玉翠祭	
○ 前夜祭報告 ～懐かしい味と歌のリクエスト集計結果発表～	40
○ 思い出の店、思い出の味。	42
* 首都圏のおいしいうどん屋さん	44
◆ 同好会・愛好会紹介	
○ ゴルフ同好会(東京玉翠会ゴルフコンペ幹事一同(S53卒有志))	54
○ 囲碁同好会(S28卒 小野 真魚)	56
○ 高高神田会(S52卒 神崎 俊)	58
○ インターネット同好会(S47卒 土居 範行)	62
○ 玉翠倶楽部(S56卒 三好 英彦)	64
○ 美術愛好会(S29卒 長谷川 汎)	66
○ 応援部OB会(S27卒 西村 武史)	68
○ プラスバンド部OB会(S34卒 頼則 絢太)	70
◆ 各地の玉翠会だより	
○ 関西玉翠会(関西玉翠会代表幹事 S46卒 岡田 健二)	72
○ 岡山玉翠会(岡山玉翠会事務局長 S28卒 入船 健一)	74
○ 徳島玉翠会(徳島玉翠会会長 S33卒 渡邊 謙)	76
計報(宮井仁之助前会長)	78
校歌・校友会の歌	80
東京玉翠会役員名簿	88
東京玉翠会晩翠部会幹事名簿	93
寄贈図書目録	102
編集後記	79
東京玉翠会会則	85
東京玉翠会高中部会幹事名簿	90
東京玉翠会高高部会幹事名簿	95
物品寄贈会社	103

FITIT
SHISEIDO






**無香料
ノンオイル
ウーノ**

ドライヤーなしでも [髪型記憶ジェル&ムース]

たとえくしゃくしゃにされたって、何度でも立ち直ればいい。
髪にバネのような弾力を与え、固めず無造作ヘアを決めるジェルとムース。
自然に乾かすだけでスタイリングを記憶、くずれても手くして元通り。
男には、そんなしなやかさとしたたかさが大切だ。
スーパーリセットジェル 800円・スーパーリセットムース 1,000円 新発売

すぐ元に戻るヤツだ。

代表取締役社長 池田守男(高高S30年卒) 取締役専務 細川 治(高高S34年卒) 表示価格は税抜希望小売価格です。

テーマ

私達は20数年ぶりにもう一度学園祭をやりたいと思いました。

高校時代の学園祭、授業の合間をぬっていろいろな催し物の準備をしました。卒業して25年、当時とは考え方も背負うものも違ってきていますが、それでも、あの時と同じような気持ちで総会の準備をすることができればいいと感じたのです。手作りで、皆が力を合わせて、出来る限りのことをする、それが私達の想いです。

そんな私達が、ご来場くださる皆様にできる精一杯のおもてなし、それは、心に残る思い出を、そして共感のもてる集いの場を、提供することだと考えました。

故郷に息づく懐かしい味には、世代を越えた共通の想いがあることでしょう。懐かしい店を再び訪れるときに感じるものは、あの頃の空気や景色です。あの頃、あたりまえのようにあった日常の全てが、今は宝物のように思えるのです。

故郷の味を口にして、世代を越えて思い出話に興じ、また新しい思い出を紡いでいただきたいと思います。

毎年会う友がいる、何年ぶりかの友がいる、
そして、思い出深い故郷の味がある、
「来まい、食べまい、話しまい。」
私が私にもどる時、20年目の玉翠祭。

平成14年7月13日
第20回東京玉翠会総会 幹事一同

式次第

- 一、開会の辞
- 一、東京玉翠会会長挨拶
- 一、議事
会計報告
監査報告
- 一、来賓紹介
- 一、来賓挨拶
高松高等学校長 溝渕 利博先生(昭和41年卒)
玉翠会会長 多田野 久氏(昭和25年卒)
- 一、乾杯
香川県知事 真鍋 武紀氏(昭和34年卒)
- 一、懇親会次第
 1. 模擬店開店
 2. お楽しみ抽選会
 3. 母校図書購入資金贈呈
 4. 次回総会担当幹事(昭和54年卒)紹介
 5. 本年度総会担当幹事代表(昭和53年卒)挨拶
 6. 応援歌・校歌 斉唱
 7. 模擬店閉店
- 一、閉会の辞

平成13年度収支計算書(案)

自 平成 13年 4月 1日
至 平成 14年 3月31日

東京玉翠会
会長 辻 義文

(特別会計)

支出の部		収入の部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
会場使用料	5,589,535	総会出席会費	5,461,000
会場運営費	1,400,733	男性 541人	
総会準備費	1,579,438	女性 261人	
母校寄付金	150,000	寄付金収入	333,000
プログラム制作費	1,063,965	雑収入	4,111,536
一般会計への繰入	121,865		
合 計	9,905,536	合 計	9,905,536

(特別会計)

支出の部		収入の部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
支部交付金	360,500	前期繰越金	10,232,994
通信費雑費	33,210	年会費	778,000
次年度立替金	800,000	預金利子	5,471
次期繰越金	10,744,620	前年度立替金	800,000
		特別会計より繰入	121,865
合 計	11,938,330	合 計	11,938,330

次期繰越金

内訳(イ) 百十四銀行東京支店	
普通預金 No.125044	5,700,108円
定期預金 (通帳式定期) 満期 平14. 9. 7	1,712,484円
定期預金 (通帳式定期) 満期 平14. 6. 14	2,128,758円
定期預金 (通帳式定期) 満期 平14. 6. 14	1,169,438円
(ロ) 手持現金	33,832円
合 計	<u>10,744,620円</u>

脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金 1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支決算書について、監査の結果、適正なる事を認める。
平成14年5月13日

監事 岡内 伸一 (印)
同 松本 僑子 (印)
同 鴨田 昭代 (印)

ごあいさつ



玉翠会会長
多田野 久

世界中に興奮と感動を巻き起こしたサッカーのワールドカップが閉幕し、本格的な夏の到来を迎えました。

本日、ここ東京プリンスホテルにおきまして、『来まい、食べまい、話まい—20年目の玉翠祭』のテーマのもと、第20回東京玉翠会総会が開催されますことを衷心よりお慶び申し上げます。

私もかつて東京玉翠会設立のお世話をさせていただきましただけに、今回第20回という節目の総会を迎えられたことに感慨もひとしおなものがあります。思い起こせば20年前、それまでは、東京高中会・東京晩翠会・東京高高会がそれぞれに同窓会を開き、旧交を温めておりましたが、昭和58年に東京玉翠会として合併し、幹事は42歳になる年度が担当するということが決定して、第1回総会が開催された経緯がございます。それから20年、それぞれの幹事の皆様の創意工夫のおかげで年毎に参加者が増え、全国一といえるほどの大きな同窓会に成長しました。これもひとえに歴代会長様をはじめ幹事の皆様方のご尽力とご苦勞の賜であるところに深く敬意と感謝を表する次第であります。年1回のこの総会で、皆様方と一緒にひとときを過ごすことができますことは、この上ない喜びであり、心の安らぎとなり、また励ましとなって明日からの大きなエネルギーとなっております。

さて、平成15年に母校は創立110周年を迎えますが、100周年の後の一つの節目としまして次のような記念行事と記念事業を計画しております。祝賀会(9月6日)、高高文化祭で高中・県女の校舎の模型や制服等の展示(9月6,7日)、記念誌の発刊、玉翠会員名簿の発刊を行います。会員の皆様にご理解とご協力をお願いいたしまして、ぜひこの創立110周年記念事業を成功裏に導きたいと願っております。また、これを機会に母校と皆様方を、さらには、皆様方一人ひとりを結びつけながら、ともに21世紀の新たな玉翠会を築き上げていくことができますよう真に願っておりますので、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、東京玉翠会の益々のご発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝のほどを心より祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

ごあいさつ



香川県立高松高等学校校長
溝渕 利博

半夏生が過ぎ、翠蔭が恋しくなる季節となりましたが、東京玉翠会の皆様方には平素より母校の教育活動に対して深いご理解と力強いご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。また、本日は第20回の記念すべき総会が「来まい、食べまい、話しまいー20年目の玉翠祭」のテーマのもと盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

私は高松高校の昭和41年卒業です。本年4月に母校の校長として赴任してまいりましたが、高松高校が香川県のリーディング・スクールとして各方面から期待される場所の大きさをひしひしと感じています。着任して最初に目に付いたのは、懐かしい校庭の樟の若葉でした。既に大木でありながら、それでも毎年新芽を出して内から太っていきこうとするこの樟は、生徒に対する教育的感化力を意識して明治41年に植えられたものと思われ、その堂々たる姿は、今も高松高校の在校生や卒業生にとって象徴的な存在となっています。

本年、創立110年目を迎える高松高校は、高中の「至誠一貫」と県女の「雪持ち笹」の精神を受け継ぎ、現在、全日制が各学年9クラスで1,081名、定時制が74名、通信制が314名の合計1,469名の生徒たちが、「文武両道」と「独立自主」をモットーに、勉学や部活動・生徒会活動等に積極的に取り組んでいます。

私は「くすの木千年、さらに今年の若葉なり」（萩原井泉水）の句のとおり、このような高松高校の良き伝統を継承しつつ、教職員や生徒諸君とともに「大志細心」（夢はでっかく、根は深く）の心を共有しながら、樟の若葉のように高松高校の新しい伝統を創造するために、日々新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っています。

東京玉翠会が本総会のご盛會を機に今後益々発展され、会員の皆様方がご健勝にてご活躍されますよう心から祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

ごあいさつ -ETCについて-



東京玉翠会会長
辻 義文

今年も小山、長尾さん達53年卒幹事の皆様のご尽力で、第20回の東京玉翠会総会が開けた事に感謝するとともに、節目の年を迎えられた事をご同慶の至りに存じます。前回同様駄文を付して挨拶に代えます。

最近有料道路を走ると、ETC【自動料金収受システム】を見かけるようになりました。これは料金所での渋滞を解消する為のシステムで、人による時間の3倍のスピード・アップが可能とされています。人手不足の時代には、外国の人に「日本は人が足りないと言うが、ガソリン・スタンドや道路の料金所に何故あんなに人手をかけるのか」とよく言われましたが、10年遅れで両方とも自動化が進んできました。しかしETCに何故踏切のようなシャッターがあるのか分かりません。偶々日本でETCの設置が議論され出した頃、欧米では高速道路も無料の所が多く、ETCの話しを聞いたり見たりする機会が無かったのですが、パリ近郊に有料道路が新設され、ETCもあるとの話しを聞き、寄り道をして見学しましたが、踏み切りなどありませんでした。

日本の設計者に聞けば、不正な利用者を無くするとか、減速させないと電波のやり取りが出来ないとか、言訳をすると思いますが、広い道路を走るわけではなく、料金所の狭い道幅を高速道路並に走れるとは考え難いと思います。現在は未だ殆ど利用者が無いので良いのですが、利用者が増えて大部分の車がETC機を備えたら、かえって渋滞の原因を作らないか、事故が増えないかと心配です。このIT機器の時代に何とも無様な設備のように思えますし、閑散とした料金所向きで、東名高速の東京料金所のような大渋滞の所には実用的でないと考えます。今度通る時にはご留意下さい。

座談会【東京玉翠会発足当時の思い出】

2002年5月1日16時～ 有楽町・大西昭一郎法律事務所会議室にて

ご参加いただいた方々（敬称略・卒業年度順）

中村 文俊(S20高女) 和波 良子(S20高女) 多田野 久(S25高高)
 永野 精子(S27高高) 久保 醇治(S27高高) 井関 賢治(S29高高)
 大西 昭一郎(S33高高) 三崎屋 義正(S34高高)

—本日はお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。今日は、諸先輩方が築き上げられた歴史を振り返り、とくに、初期の、高中会、晩翠会から、高高会、東京玉翠会へといたる過程で、同窓会活動の牽引役をしてこられた方々に、

当時の熱い思いを語っていただきたいと思えます。まずは、東京高高会の第1回の幹事学年であり、現玉翠会会長の多田野さんから、お話を聞かせていただけますでしょうか。

●東京高中会・東京晩翠会・東京高高会の三会合同までの軌跡—

多田野 はい。第1回の東京玉翠会は、昭和58年6月25日に如水会館で行われたわけですが、その前に、東京高中会、東京晩翠会、東京高高会、三つの団体が一つになるということで、大変伝統と歴史のある高中、高女のご先輩方からいろいろご注文がついて、まとまるのに時間がかかったというふうに記憶しております。

から、会員数が減る一方になるわけですね。したがって、早くいっしょになろうという思いは、共通のものがあったわけで。

大西 ようやくその気運がまとまって、じゃあ、合同準備委員会をやるのではないかと、いうことに決まったのが昭和57年の4月ですね。そして5月15日、第1回の準備委員会を開いたと。ここから、スタートしていくんですね。

高中会・晩翠会から高中部・晩翠部への変更をめぐって

—その打ち合わせというのは、うまく一回できれいにまとまったというわけではなくて、何回も行われたんですね？

和波 やっぱり、晩翠部と高中部っていうのが残るかとか、会だったものが部になるってことになって、それをもう合流してしまえばよかったですけど、やっぱり大先輩のかたは、東京晩翠「会」にすご

くこだわってらして、ぜひ残してほしいと。
 多田野 今でも東京晩翠会っていうのはあるわけ？

和波 もうね、会をするときは、晩翠「部」親睦会、っていうようにね、名前を変えたので。晩翠部っていうのは残したんですけども、毎年一回の幹事会は開くが、親睦会は2年に一回ってことになったんです。

多田野 そのとき、高高会はまだ解散して、玉翠会一本にするというふうに決めて、高中会部会のほうは残したんですよ？

中村 ええ、残したんです。高中会は、合同でオッケーということだったんですけどね、晩翠会がね、どうしても残すっていうもんだから。（一同、笑）晩翠会が残すのにな、高中会だけがなくなるんじゃないか、というので、高中部会も残った。

和波 でもね、晩翠「部」っていうの、なかなかね、皆さんがなじまないで、やっぱりいまだに晩翠「会」っておっしゃるかたもいるんですよ。

—女性のかたは、ちょっと違和感があったんですかね、男性といっしょの同窓会に入るということが。

和波 やっぱりご年配のかたはね、高中会にご招待されても、なかなか行きたがらなかったんですよ。

久保 ここに、第15回、最後の東京高中会総会の案内状があるんですよ。このときね、晩翠会の会員でもある僕らの学年の女性たちが大挙して、この高中会に参加したんです。



和波良子さん
「玉翠会が始まってから20年、ずいっと事務局をやっているんです。そろそろ若い方にバトンタッチしていただきたい」と。

この最後の高中会総会は、昭和57年の10月18日に、霞ヶ関ビル35階でやったんですよ。この案内状に、「本年は東京高高会などとの合同を来春に控え、東京高中会の最後の総会でもあり、また、母校高中創立90周年を目前にしての意義深い総会にしたいと願っております」と謳ってある。

僕ら、高中会のオトンボなんですよ。で、下級生もいない、これはまあ、晩翠会も同じ。やっぱり高中会が最後だっていうこともあって、それじゃあ僕らの学年で大勢女性を連れて行きましょうという話になって。で、和やかな雰囲気になって。だれだったか、「やっぱりオナゴの子がおると気分がなごやかになるのう」「これ、今日が最後で終わりっていうのはも



久保醇治さん
「大学の同窓会なんかよりも、中学高校の時の同級生のほうが、やっぱり心が許せるんだよね。」

多田野久さん
「来年の9月6日、高松高校の110周年記念が、高松のクレメントホテルで行なわれます。ぜひ、東京玉翠会からも来ていただきたい。来年の9月6日、高松へお越しください。」



ったいないのう」とおっしゃったのを記憶してるんですよ。

あのときにねえ、どうだった？みんな参加してさあ、違和感なかったよねえ。

永野 なかったですよ。

久保 そういう意味でも、高中の人たちも、思い入れを持って参加されたし、とにかく男だけじゃなく女性も連れて参加しようというんで、翌年に向けて若干の情勢を創ったという感じがするんですよ。

大西 高中会は15回が最後だと東京晩翠会は何回ですか、最後は？



「永野裕子さん「あのころ、やっと子育ても終わって、みんな集まりたいな、っていうので、高高会をね。」

久保 ここにおふくろの遺品で第7回のあるんですけどね、これが昭和40年。

大西 じゃあ、昭和34年が第1回になるわけ？高中会より古いんだ。

和波 だから、先輩たちは、すごい思い入れがあったんですよ。

大西 それから58年までだから、25回やってることになるんでしょうか？

東京高高会発足の背景

永野 あたしたちね、入るときが県女で、出るときが高高だった。だから、晩翠会にも入れてもらえない。2、3回出たんですけどね、とても冷たかったの。あなたた

ちはもう高高でしょ、みたいな。

大西 久保さんのように、高中に足がちよっとでもかかっている人は高中会に入れてくれたんだ。だけど、高中に足のかかってない、ほくら33年卒みたいなのは、ないんですよ。爪はじきされてたんだ。

中村 いや、高中会は、晩翠みたいに冷たいことは言わなかったよ。

大西 言わない、言わない(笑)。

永野 それが男女の違いだわあ。まだ玉翠会はできてないし、同窓会っていうものがぜんぜんなかったんです、あたしたちは。それで、やっと25年卒から高高会っていうのをやろうじゃないかと。25年からが高高ですからね。

大西 (記録を見ながら)昭和49年の12月14日にね、正式の第1回の打ち合わせ会を、百十四銀行東京支店でやってるんですよ。で、第1回総会を、昭和50年の5月17日にやろうということに決まってる。場所はね、東京プリンスホテルだよ。サンフラワーホールってところ。会費は一人5,000円だと。

永野 東京高高会のとときの記録って、ほかに何か残ってないんですか？

大西 あのね、高高会の最初のころは、こんなパンフレットなんか作ってなくてね、紙っぺら一枚。議題と、役員選出についてとかね。校歌は別刷り。これ、第1回東京高高会の案内状なんだけど、ちょっと読んでみます。こんなことが書いてある。

「拝啓 新緑の候、貴台ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、母校・香川県立高松高等学校

にはご高承のとおり、旧制高松中学及び高松高等女学校の卒業生をも包含する同窓会、玉翠会があり、東京におきましても右旧制中学及び女学校卒業生の方はそれぞれ活発に同窓会を開催されておられますが、新制高松高等学校卒業生においては遺憾ながら全体としての同窓会を開催することがなく、今日に及んでおります。

そこでこのたび、首都圏在住の高松高等学校卒業生全体の同窓会をまとめ、表記要領にて東京高高会を開催する運びとなりましたので、万障お繰り合わせの上ご参集くださいますようご案内申し上げます。昭和50年4月 東京高高会幹事一同

というので、お出しになってますね。

井関 お出しになったって、あんたが作ったんだよ、文章。

大西 あ、そうか。(一同、笑)それでねえ、参加人数は、262。

——いろいろ創意工夫をされながら、やってこられたんですね。

和波 そうですね、やっぱり大変でしたよね。

大西 大変っていうんじゃないんだな、楽しんでたからね。

久保 楽しんでましたよ。ほくらの学年、昭和27年卒っていうのがわりと思入れがあったのはね、たとえば、毎回総会やるときに、旗がかかるんですよ。ほくら27年が高高会総会の幹事をやったとき、そのえんじ色の応援旗を作ったんですよ。それから、第1回の玉翠会のとときにも、ほくらが紺色の旗を作って寄付したんで



「中村文俊さん「当時うちが高中会の事務局やってたもんだから、玉翠会に引き継いだ時はホッとしたり、もう当番が回ってこないから(笑)」

すよ。

大西 その、えんじ色の高高会の旗っていうのは、甲子園に持っていくっていう話だったんだよ。

久保 「高高校歌を甲子園で歌いたい会」を作ろうって、作ったんですよ。(一同、笑)旧野球部のやつを会長にしてね、勉強はいいから、もっと野球に力を入れてほしいと、一人1万円ずつ集めようとしたんだけど、3、4人しか金出してくれなくてね。あのときは燃えてたんですよ。

——最初、晩翠会のほうは、独自に始められたというプライドもあって、独立性を高くしていきたいという形から、だんだん、合流して、東京玉翠会としていっしょにやってみようというふうに変わっていったきっかけというのは？



「井関賢治さん「幹事学年の42歳っていちばん働き盛りで大変なんですけど、これをくぐりぬけて人間ができていくんじゃないかと。」

大西昭一郎さん
「武道館でやろう、総会を。あそこなら三千人でも四千人でも入れる。ホテルなんかよりずっと安上がりになるし。」



大西 それはねえ、「松原・松浦会談」というのがあるわけよ。

久保 ああ、あったあった。

大西 これで、晩翠会が軟化したんだと思うんですよ。

——会員の皆さんのお気持ちは、いかがだったんでしょうか？

和波 私たちは抵抗ぜんぜんなかったんです。男女同席したことない学年の方は、抵抗があったみたいだね。

久保 「男女七歳にして席を同じうせず」！（一同笑）そういう意味では、多田野さんの学年からぼくらの学年というのは、それなりの男女共学の体験があるから、あまり違和感ないと同時に、むしろ三つの会が玉翠会に合同したほうがいいというのが、ぼくらの主流の考え方

三崎屋義正さん
「わたし、毎年安心してますわ、各学年幹事がほんまにしっかりとやっておいでる。さすがが高高じゃなと思っております。」



でしたよね。

タテの連絡は応援部、運動部OBから

——まず最初にそういった会を開く際に、たとえば高高会の初めのときには、とくにタテの組織があるわけじゃないですよね。

三崎屋 第1回高高会を昭和50年に始める前に、1年半か2年、準備会があったんです。で、各学年幹事が選任されて、高高会がスタートしたんです。

——各学年の代表者に連絡を取らないといけないとか、だれに話をもちかけて、どうやって来てもらえばいいとか、そういうあたりってというのは？

大西 やっぱりね、あれ、運動部ですよ。運動部とね…。

久保 応援部。かつてそういうクラブ活動やっていた連中の先輩後輩の関係で、とにかく集めようっていう、そういう雰囲気だったね。それで一つの核ができて、タテのコミュニケーションができて始めて。それまでは、ばらばらの学年別の同窓会はやってたんだけど。

——でも逆に言うと、とくにそういうことのない学年もあったかもしれませんよね。まあ、今は幹事会でだいたいの各学年幹事が立ってますけど、初めてのときなんか、まずだれと話をしたらいいのかわからないというようなことはなかったんですか。

大西 いや、その準備会を通じて、みんな緊密になってましたよねえ。

——その辺が今の東京玉翠会につながる、タテの関係の最初なんですね。

久保、永野 そうそう、そうです。

三崎屋 多田野先輩は25年ご卒業で第1回高高会の幹事年度であられた。そこから自動的に、卒業25年で42歳が幹事年度になるという話で来とんですな。

久保 生涯一回幹事をやったら、もう二度と回ってこないよ。

中村 あれはなかなかいいアイデアだねえ。大西さんの案だったらいいね。

久保 ぼくが知ってる、ほかの高校だとか大学の同窓会っていうのはね、先輩幹事がいばっててね、後輩に命令してやるもんだからね、だんだん出席者が少なくなっていくっていう、そういう傾向、あるよね。よその学校のを見ると。

中村 あるある。

そして、東京玉翠会発足へ

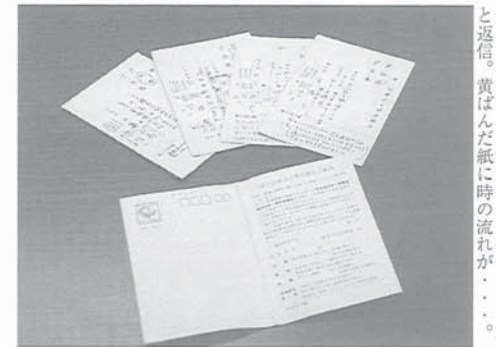
——そういった形で、晩翠会、高中学、高高会という形から、第1回の東京玉翠会へと。で、その第1回の幹事年度をされたのが三崎屋さんの代ということで、そこから、かなり拡大した組織になって、いろいろ新たな局面とかご苦労があったんじゃないかと。

三崎屋 ちょっとポイントを。三会合同委員会が昭和58年3月8日、多田野さんの東京営業本部で、高中、高女、そして高高は多田野会長以下7名で出席。議題としては東京玉翠会会則案、これは大西事務局長中心に作られた案でございます。これは、6月25日総会から施行いたすということになりまして、現在の規則でございます。

その前年から合同委員会を重ねたわ

けであります。大西先輩の代が33年卒で第8回東京高高会をホテルオークラで盛大にやられて、翌年が合同の第1回になるんですな。我々34年卒が担当させてもらって、約40名の同期の連中で幹事団を構成いたし、それで、広告から動員から、今とまったく同じシステムです。

それで昭和58年6月25日如水会館で、開催いたしました。会費は男性7,000円、女性6,000円。出席者数は、来賓12名、高中88名、晩翠が94名、高高が445名、計639名。



第一回東京玉翠会総会のはがき(サンプル)と返信。黄ばんだ紙に時の流れが...

中村 やあ、すごいな。

井関 入りきれなかったんだ、部屋がね。

三崎屋 そうです、盛会になりました。その前段階で、多田野会長に、総会準備の件、報告したところ、場所、会費、寄付、それから目標出席総数など、いろいろご指摘をいただいた。福引もいたせと。

それから、プログラムを作りました。薄いものであり、今のほど立派ではありませんが。それから34年幹事一同全員で渋谷先生を囲んで写真を撮りました。そのあと、その場所で反省会と慰労会をいたしました。

久保 そのへんが、やっぱり組織的に運営

されるきっかけになったわけやな。毎年毎年引き継ぎ引き継いで。

●同窓会の魅力とは？

——やはり、熱意や思い入れがないと、続いてこなかったと思うんですけれども。なぜ同窓会をそんなにやりたいのか、それを通してみなさんが得られてるものを、後輩のみなさんに伝えられたらと思うんですけれど。時間やエネルギーはもちろん、私財を投入したりして、みなさんやってこられた、その思いっていうのは、どういうところから…。



東京玉翠会「オアシス」論

久保 そらもう、簡単よ。高高が「ふるさと」やから。

中村 いや、まさにそのとおりでね。僕が思ってるのは、愛郷心ですよ。これが基盤になって愛国心になるんで、そらね、考えや思想はみんな違うけれど、いちばん原点の中学であり、高校であるということだね。

久保 ただね、同窓会を見てるとね、東京

とか神奈川とか、近県の高校はね、同窓会ってのはあまりやらないんだよね。ところが僕らは、高松がふるさと。「ふるすとは遠きにありて思うもの」じゃないけど、ぼくらは東京へ来ると。ふるさとへ帰ろうと思っても、昔はなかなか帰れない。だけど、東京で同窓生に会うということはね、それこそ讃岐弁で話もできるし、同郷そのものでしょ。だからふるさとなんですよ。だんだん白髪が増え、頭がはげてくるんだけど、毎年毎年そうやってね、元気に生活してる人たちと会うことによってさ、ある意味でのまあ、オアシスとは言わんけどね、東京でぎすぎすしながら仕事しててもね、少年時代にぱっとすぐ戻れるという、憩いの場みたいなのが、同窓会にはあるからね。

大西 オアシス論ね。

それと、やっぱり、東京で活躍されてる人たちがいるでしょ、先輩に。そういう人たちと知り合いになれるっていうこともやっぱり大きな一つの喜びではあったですよ。

三崎屋 そうですな。

中村 僕らの学年でね、高中に1年間だけしかいなかったけれども、同期会に必ず出てくるちゅうのもね、いるんだよ。

久保 いますね、僕らの学年にもいます。高中に入学して、高高には進学してないん

だけれども、同期会なり、玉翠会やってるっていうのを聞いてね、ぜひ参加したいと。何でオマエ参加するんだっつたらね、やっぱりね、(旧制)中学1、2年3年のときの友人の記憶っていうのはね、どうしても忘れられないんだと。どうしても生きてるうちに会いたいんだと。こういう想いなんですよ。

中には、外国人もいるんだけどね。当時、国民政府から亡命してたのが高中の僕らの同級生にいてね。それが、中国革命が始まったとたん、高中からいなくなっただよ。それが何十年もたって、あるときぼくところに突然電話かかってきて「いま、中国大使館に勤めてます」って言うんだよ。「そらええとこ就職したな」ったら、違うんだ、一等参事官で来とるわけよ(笑)。そういうんで交流が始まって。

やっぱりね、少年時代のふるさとで、人格が形成されはじめて、新鮮なときにお付き合いをした友人っていうのはね、忘れられないんだ。大学の同窓会なんかよりも中学高校のときの同窓生のほうが、やっぱりね、心が許せるというか。

井関 おっしゃるとおりでね、ええと、「大岡越前」の加藤剛君なんかも1年いたんだよね。だから何回か参加してるの。彼は小石川へ転校して早稲田へ行ったからね。

大江健三郎氏もそうだね。

永野 ああ、大江さんがね、ほんのちよっとだけ。

井関 卒業は松山東だけ。

中村 入ったのは高中か。



後輩へ伝えたいこと

——もう一言ずつ、私ども、あるいは若い世代に向けて、今一度、同窓会活動へのエールといたしますか、そういったお言葉をいただけたらと思うんですけど。

多田野 東京玉翠会っていうのは、42歳のときに年度幹事をやるって決めて、もうずっと今日まで続いておるわけですが、年度幹事をしたときに、友人の輪というのがだーっと広がるわけですよ。それまで全然連絡なかったやつが、だんだん、期日が近づくにつれて、団結するわけです。それでその年度幹事が終わったときに、同期会が盛り上がり、ずーっと継続されると。年度幹事というのはそういうチャンスだと言いたい。





中村 この東京玉翠会というのは、非常な美風を受け継いできておるんで、途切れることのないようにしてもらいたいと思ってるんです。

和波 総会に出ますと、すごく活力をいただいて若返ってね、元気が出るのは確かですので、足が動く限りは参加したいと思っております。

永野 私は卒業してちょうど50年、東京へ来たのも50年。今度卒業50年の同窓会が高松であるんですけども、それはもう散らばってた人が全部集まってくると言うんですけどね、そういったときにやっぱり、ああ、あたしやっぱり、東京に50年いても私の根っこはここにあるんだってことをね、実感として感じるであろうと。またそこで皆さんとの結びつきもできる



んじゃないかと思うんです。

久保 先輩が、担当幹事として、それなりに精一杯精力を投入して盛り上げてきた伝統を、やっぱり長く引き継いで続けていって欲しいし、そのことがまた先輩たちの労に対するねぎらいをしてくれていると、こういう感じがひとつはするんですね。だから大事にして欲しい、また重く受け止めてほしいと、こういうのが要望としてはありますね。

それから、同学年だけじゃなくて、さまざまなジャンル、たとえば囲碁とかゴルフ、美術愛好会とか、神田会とかね。そういうところでタテの交流っていうのがさかんに行われて、しかもそれが同じ職業じゃないだけにね、一種の異業種交流的な色彩をかなり濃厚にもってて、これがまた自分を大きくしてくれて、仕事にも非常に役に立ってる部分もあるという気がします。そういう伝統なども、具体的に、大事に引き継いでいってほしいし、我々も積極的に協力します。

井関 ほくはプログラム(の印刷)をずっとやらしていただいて、当番幹事のかたとお会いすることが非常に多いものですから、年々歳々やっぱり、そのカラーがあるなあとほくは思うんです。これは非常にいいことだと。それと、いつか千何百人いた学年もありましたね。そういう人たちが、当番幹事をやったがために、初めて会う人がいるんですね。それが、びしーっと家族づきあいができるようになってるわけで、これは何ものにも増して貴重な財産じゃないかなあと。

大西 やはり、同じ釜の飯を食って育てき

たっていう、その共通項の中で得られる、タテとヨコの人のつながりっていうものは、ほんとに大きいと思うんですよね。で、やはり、タテのつながり、先輩後輩のつながりをどうつけていこうか、っていうところに、いろいろみんな工夫をしてきた。ゴルフ会が確か最初のスタートだったと思うんですよね。それがだんだん発展して、いろんな同好会ができてきた。それはそれで、今まで20年の間にそれなりの発展をしてきたんじゃないかと思うんですね。

ところがね、やっぱりちょっとここで反省すべき点がきてるんですね。考えてみたら、20年たったらね、やっぱりね、もう、一回、壊してみてもね、創造しなおさなきゃいかんんじゃないか。手作りの楽しさって

いうのをもう一度やってもらったほうがいいんじゃないか。

三崎屋 学年によって、段取りだの流儀が違って、かまわんでね。やはり愛郷心ですな。すなわち愛校心につながり、愛国心につながるということが大事だと。その元になるのは、学年幹事による手作りの仕組みなんですな。学年幹事が会員のかたと一杯飲み、文通し、ゴルフして、大変なコミュニケーションがあるわけです。これが、設立以来のベースになつとると、ほくは思ってるんやね。

——次の時代に向けて、今後とも先輩方のお力をお借りしないとイケないと思います。よろしく願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

一同 ご苦労さん! (拍手)

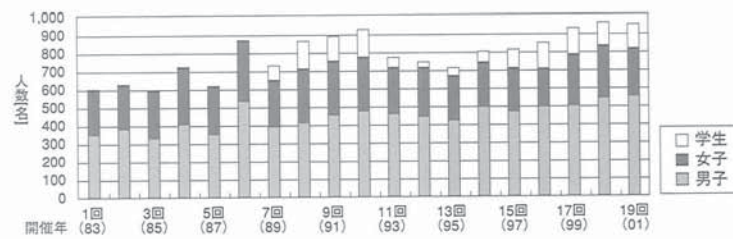


【東京玉翠会の軌跡:歴史年表】

年	月日	できごと	
1891	M24 10月	讃岐婦人進徳会により、進徳女学校設立 (M35年に県立に移管、香川県立高松高等女学校(高女)と改称)	
1893	M26 5月	香川県尋常中学校設立 (M32年に香川県立高松中学校(高中)と改称)	
1948	S23 4月	新学制実施、旧高中は香川県立高松高等学校と改称、 旧高女は香川県立高松女子高等学校と改称	
1949	S24 4月	旧香川県立高松高等学校、香川県立高松女子高等学校を統合して、 香川県立高松高等学校を設置	
1950	S25 1月	高中同窓会「玉藻会」と高女同窓会「晩翠会」合同し、 「玉翠会」として発足	
	3月	高松高等学校第1期生卒業	
1959	S34	(この頃、晩翠会東京支部総会始まる)	東京 高中学 晩翠会
1968	S43	(この頃、東京高中学会始まる)	
1974	S49	(S25-27卒合同同窓会(於:讃岐茶屋、参加者:100名程度)) (東京高学会開催の気運高まる)	東京 高中学 晩翠会 高学会
1975	S50 12.14 5.17	第1回「東京高学会準備会」打合せ(於:百十四銀行東京支店) 第1回東京高学会開催[幹事年:S25、26卒中心] (於:東京プリンスホテル・サンフラワーホール) (初代会長:多田野久氏、参加者:262名)	
1976	S51 6.19	第2回東京高学会[幹事年:S27卒] (於:マツヤサロン、この頃より、学年幹事制が確立)	東京 玉翠会
1981	S56	(この頃より、東京高中学会・高学会に相互参加し、交流を深める)	
1982	S57 5.15	東京玉翠会発足三合同準備委員会	並存
	6.26	第8回東京高学会[幹事年:S33卒](於:ホテルオークラ・曙の間)	
	10.18	第15回東京高中学会(於:霞ヶ関ビル35階)	東京 玉翠会
	—	第24回晩翠会東京支部総会(於:東條会館)	
1983	S58 3.4	第1回東京玉翠会準備三合同委員会(於:タダノ東京支社) (3月19日 第2回準備会、4月23日 第3回準備会)	東京 玉翠会
	6.25	東京玉翠会設立、第1回東京玉翠会総会開催[幹事年:S34卒] (於:如水会館、初代会長:平井健吉氏、参加者:639名)	
	11.5	高松高校創立90周年祝賀会(於:高松)	東京 玉翠会
1984	S59 6.23	第2回東京玉翠会総会[幹事年:S35卒] (会場を赤坂プリンスホテル・クリスタルパレスに移す)	
1992	H4 7.4	第10回東京玉翠会総会[幹事年:S43卒] (会場を東京プリンスホテル・鳳凰の間に移し、現在に至る)	
1993	H5 11.27	高松高校創立100周年記念式典・祝賀会(於:高松)	

年	第1回 1983(S58)年	第2回 1984(S59)年	第3回 1985(S60)年	第4回 1986(S61)年
日付	6.25(土)	6.23(土)	6.15(土)	7.5(土)
幹事	S34卒	S35卒	S36卒	S37卒
場所	如水会館	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス
会長	平井健吉 (高中23回、T7卒)	平井健吉 (高中23回、T7卒)	平井健吉 (高中23回、T7卒)	平井健吉 (高中23回、T7卒)
テーマ	-	-	-	-
催し	福引大会	福引大会	福引大会	
トピック	東京玉翠会設立 11月 高松高校創立90周年 記念式典(高松にて)			総会プログラム、寄稿集等掲載、 ほぼ現在の体裁になる
	 <p>第1回東京玉翠会 S34年卒幹事団 渋谷先生を囲んで</p>			
プログラム特集・表紙	古い校舎の写真 第1回東京玉翠会に寄せて (東京玉翠会発足の経緯)		新校舎計画模型写真	寄稿集 東京晩翠部会座談会 東京讃岐マップ 37年卒会員紹介
ニュース	4月 NHK「おしん」放映 4月 東京ディズニーランドオープン 9月 大韓航空機墜落事件	1月 三浦和義ロス疑惑 2月 サラエボ冬季五輪 7月 ロス五輪 12月 電電公社民営化決定	5月 男女雇用均等化法 8月 ジャンボ機御巣鷹山墜落 9月 プラザ合意、円高へ 10月 阪神タイガース優勝	1月 スペースシャトル爆発炎上 4月 チェルノブイリ原発事故 5月 チャールズ皇太子・ダイアナ妃来日 11月 国鉄分割民営化決定

年	第5回 1987(S62)年	第6回 1988(S63)年	第7回 1989(H1)年	第8回 1990(H2)年
日付	6.20(土)	6.25(土)	6.17(土)	6.30(土)
幹事	S38卒	S39卒	S40卒	S41卒
場所	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス
会長	平井健吉 (高中23回、T7卒)	平井健吉 (高中23回、T7卒)	平井健吉 (高中23回、T7卒)	大島 功 (高中35回、S5卒)
テーマ	-	わたっていい友!	「母校の昭和史」	文化祭の青春
催し	一合まいた(踊り) 福引大会	展示物紹介 瀬戸大橋クイズ	映像でみる母校の昭和史	ゲーム
トピック		4月 瀬戸大橋開通 総会プログラムテーマ掲げる	1月 高高新校舎起工式	



プログラム特集・表紙

母校近況
寄稿集



どっきん高松(近況写真)
母校の歩み
どおっしょんな(近況ミニレター)
寄稿集



母校の昭和史
どおっしょんな
寄稿集



文化祭の青春・40年の歴史
生まれ変わる母校
東京玉翠会アンケート結果
どおっしょんな
寄稿集



ニュース

7月 石原裕次郎死去
10月 ブラックマンデー
12月 ゴルバチョフ・レーガン会談

3月 青函トンネル開通
3月 高知学芸高中国列車事故
7月 リクルートコスモス未公開株事件
9月 ソウル五輪

1月 昭和天皇ご逝去
2月 吉野ヶ里遺跡発見
4月 消費税導入
5月 中国天安門事件
11月 ベルリンの壁崩壊

1月 バブル崩壊始まる
8月 イラクがクウェート侵攻

年	第9回 1991(H3)年	第10回 1992(H4)年	第11回 1993(H5)年	第12回 1994(H6)年
日付	7.13(土)	7.4(土)	7.10(土)	7.9(土)
幹事	S42卒	S43卒	S44卒	S45卒
場所	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	東京プリンス 鳳凰の間	東京プリンスホテル 鳳凰の間	東京プリンスホテル 鳳凰の間
会長	大島 功 (高中35回、S5卒)	大島 功 (高中35回、S5卒)	大島 功 (高中35回、S5卒)	宮井仁之助 (高中44回、S14卒)
テーマ	グッバイ!旧校舎 ハロー!新校舎	2001年のTAKAMATSU 東京のなかの讃岐	高松高等学校百年の歩み 随筆:母校の思い出など	101年 いま新たな出会い
催し	催事・抽選会	ビデオ上映・ビンゴゲーム	抽選会等	高高100周年記念スライド上映 抽選会
トピック	1月 高高新校舎・玉翠会館竣工		5月 第1回徳島玉翠会総会 11月 高高創立100周年記念式典 (高松にて)	第1回東京玉翠会ゴルフコンペ 玉翠会京阪支部、関西玉翠会に発展。 11月 第1回総会



総会会場で記念撮影
(第10回)

プログラム特集・表紙

グッバイ!旧校舎
ハロー!新校舎
トピックス:芝草宇宙投手
どおっしょんな
寄稿集



2001年のTAKAMATSU
東京の中の「讃岐」
コラム うどん vs そば
寄稿集
東京玉翠会十年の軌跡



高松高校百年の歩み
随筆集:母校の思い出など
瀬戸内経済圏の中核として
50万都市を目指す・高松



杉原幸子様と語る
校歌の作曲者について
母校の思い出・私の近況
各地の玉翠会だより
(*初掲載、以後継続)
東京・讃岐マップ



ニュース

6月 雲仙普賢岳火砕流
12月 マストリヒト条約EU創設
12月 ソ連解体

2月 アルバールビル冬季五輪
2月 東京佐川急便事件
6月 国連PKO法案成立
7月 バルセロナ五輪

5月 Jリーグ開幕
6月 皇太子・雅子様ご成婚
8月 細川内閣発足55年体制崩壊
9月 ゼネコン汚職

2月 リレハンメル冬季五輪
9月 関西国際空港開港

年	第13回 1995 (H7) 年	第14回 1996 (H8) 年	第15回 1997 (H9) 年	第16回 1998 (H10) 年
日付	7.1 (土)	7.13 (土)	7.12 (土)	7.11 (土)
幹事	S46卒	S47卒	S48卒	S49卒
場所	東京プリンスホテル 鳳凰の間	東京プリンスホテル 鳳凰の間	東京プリンスホテル 鳳凰の間	東京プリンスホテル 鳳凰の間
会長	宮井仁之助 (高中44回、S14卒)	宮井仁之助 (高中44回、S14卒)	宮井仁之助 (高中44回、S14卒)	辻 義文 (高中50回、S20卒)
テーマ	り・ユニオン 新たな結び合い	集えば青春・・・ ふとく あつく ながく	「どなんしょんな? たまには来まい」 —The King's Sanukibennとの出会い—	『いま“シンプル”に SHALL WE 高松?』
催し	女声コーラス お楽しみ抽選会	藤原清澄と有志ジャズ演奏 ビンゴゲーム	かわってゆるしてウルトラクイズ 抽選会	“Shall We 高松?”ビデオ 一合まいた 抽選会
トピック	阪神・淡路大震災哀悼の辞 9月 囲碁同好会第1回大会 11月 神田会第1回寄合い	東京玉翠会ホームページ開設		4月 東京玉翠会美術愛好会発足 7月 玉翠倶楽部誕生
	<p>全体風景 (第19回)</p>		<p>模擬店前にて (第15回)</p>	
プログラム特集・表紙	香川の教育はいま 母校の思い出・私の近況 戦後50年県女S19卒業生座談会 実用/東京さぬきマップ	超趣味人間 東西海外体験記 母校の思い出・私の近況 東京さぬきマップ 辻義文先輩講演会より 同好会・愛好会(以後継続)	讃岐弁(寄稿集) 俳句・随筆 讃岐イエローページ ・現代讃岐弁の基礎知識 ・東京さぬきマップ	梶原先輩・秀子さんを偲ぶ 変貌する高松 母校の過去・現在 高松まつり 東京讃岐マップ 一口伝言メモ
ニュース	1月 阪神大震災 3月 地下鉄サリン事件	2月 薬害エイズ問題和解 3月 住専処理問題紛糾	3月 企業の総会屋利益供与問題 4月 消費税引上 4月 ヘルメット大使公邸占拠事件 8月 ダイア元皇太子妃死去 11月 北拓・山一破綻	2月 長野冬季五輪 7月 小淵政権誕生 8~9月 金融危機深刻化 10月 金融安定化法案成立

年	第17回 1999 (H11) 年	第18回 2000 (H12) 年	第19回 2001 (H13) 年	第20回 2002 (H14) 年
日付	7.10 (土)	7.11 (土)	7.14 (土)	7.13 (土)
幹事	S50卒	S51卒	S52卒	S53卒
場所	東京プリンスホテル 鳳凰の間	東京プリンスホテル 鳳凰の間	東京プリンスホテル 鳳凰の間	東京プリンスホテル 鳳凰の間
会長	辻 義文 (高中50回、S20卒)	辻 義文 (高中50回、S20卒)	辻 義文 (高中50回、S20卒)	辻 義文 (高中50回、S20卒)
テーマ	「平成いい(11)年7の月、 集えば元気が湧いてくる!」	「20世紀のフィナーレ そして21世紀へ～ 歴史と未来を語り合う夕べ」	温故知新～ 世紀新たな陽に映えて	来まい、食べまい、話しまい。 20年目の玉翠祭
催し	玉翠うどん道場 お楽しみ抽選会	写真による学生生活振り返り 卒業生音楽家ジャズ演奏 お楽しみ抽選会	サヌカイト(カンカン石)演奏 お楽しみ抽選会	懐かしい味模擬店 お楽しみ抽選会
トピック	高高野球部秋季四国地区 大会ベスト4進出		1月 母校にてタイムカプセル 開封式典(1991年、旧校舎 記念行事として埋設したもの)	第20回記念総会
	<p>東京玉翠会総会費用の推移</p> <p>金額千円</p> <p>年度 (83) (85) (87) (89) (91) (93) (95) (97) (99) (01)</p> <p>◆ 総会費用 — 一内、会費収入</p>			
プログラム特集・表紙	元気人間シリーズ - WEB上の元気人間 - 寄稿集 - 高高だより - 現役高生校友会成績	在学時代の思い出で綴る 20世紀(寄稿集) ジャズサクソ奏者多田氏 紹介	温故知新～世紀新たな陽に 映えて(寄稿集) われら高高三代座談会 サヌカイト紹介 タイムカプセル開封記念式典	東京玉翠会の歩み 東京玉翠会第20回総会に 寄せて(寄稿集) 懐かしいお店・音楽 首都圏のおいしいうどん屋
ニュース	1月 欧州統一通貨ユーロ導入 9月 東海村臨海事故	4月 小淵首相急死、森内閣発足 6月 韓国・北朝鮮首脳会談 7月 九州・沖縄サミット 9月 シドニー五輪 11月 米国大統領選挙	2月 ハワイ沖で愛媛丸沈没 4月 小泉内閣発足 6月 大阪池田小児童殺傷事件 9月 国内でも狂牛病確認 9月 米国同時多発テロ 10月 米国アフガン報復攻撃	1月 ユーロの現金流通開始 2月 ソルトレークシティー冬季五輪 6月 サッカーW杯日韓で開催

東京玉翠会誕生秘話

昭和26年卒 河江 一仁(作曲家)

押しなべて旧制中学の卒業生による同窓会ほど味気ないものはない。何しろムサイ男ども2~30人が一堂に会して、ただ、蛮声を張り上げて校歌や応援歌を歌ったりするだけの山だから面白くもなるともないが、我が旧制高松中学の同窓会……、つまり[高中会]も御多分に洩れなかった。ところが、その年の平河町のマツヤサロンで催されたこの会は従来とはすっかり趣を異にし、大勢の妙齢のご夫人たちが同席して、盃に酒は注いで貰える、皿に料理は盛って貰える、取り留めのない話にも乗って貰える……で、差し詰め龍宮城の乙姫さまや官女たちに囲まれた浦島太郎も斯くぞありめれ……と、いった風情であった。

そもそも旧制の中学生とは昭和21年の春に入学した学年が我が国の学校制度史上最後となる。中でも、昭和19年から3年間に旧制に入学した学年は、その後、南東の筋向かいのワン……、つまり憧れの県女と併合されて男女共学となり、2つの校舎を互に行き来しながら授業を受け、自動的に新制高等学校の卒業生となったが、この中学や女学校と新制高校とを重複した世代の間で沸々と湧き上がった話題が自分たちだけの同窓会の設立であった。こうして、重複組だけでこじんまりと実現したのが[東京高高会]である。知らない他所の人は間違えて、「タカダカカイ」だの、「コウコウカイ」などと読むが、「タカコウカイ」だ。

同級生の藤井君の話に拠ると、その頃、例の高中会は重複組を飽くまでも高等学校の卒業生であって中学校の卒業生ではないという理由でつれなく袖にしていたそうだが、年々会員数が減少する歴然とした事実、少なくとも入学だけはしたのだから……と、我々の男子だけを渋々一隅に組み入れた。やんぬるかな、そこでは借りてきた猫さながらで、一生、最下級生の地位に甘んじなければならぬ宿命を負わされ、おまけに高高会と両方に所属することになって同じ学校の同窓会に年に2度も顔を出さなければならない羽目になってしまった。それに引き換え、高高会の方は後輩たちを加えるようになると今度は我々が最上級生群に君臨するようになり、会員数も年々膨らんでいったが、それに目を付けた高中会の先輩たちは主導権は飽くまでも自分たちにあるという前提でこの高高会をも傘下に収めんと申し出てきたのである。

時を前後して、重複組の真ん中の昭和20年に中学に入学し、26年に高校を卒業した我ら昭和7年生まれ申年の学年……、尤も、私は転校で中学の途中から高校の途中までしか在籍していないが……、その学年は銀座七丁目の角にあった資生堂パーラーの4階の会場

で男女を交えたクラス会の産声を上げ、卒業した年に因んで[東京二六会]と、命名した。その時お互いに、「そろそろ三十路も終わつりゃの〜」などと囁きあっていたからその頃であろう。或る年、この会が一計を案じ、男女あい携えて件の高中会に大挙して押し掛けた。それが冒頭で述べたマツヤサロンでの一幕である。「いいかい、先輩の小父さんたちをホステス宜しくしっかり持て成してくれ……」とかなんとか耳打ちしたか如何かは定かでないが、今でも引けを取らない彼女たちのことだ、30年前は更に妖艶な女盛りだったに違いない。片や高中のいにしえの健男児たちも年齢を重ねたとは雖え瘦せても枯れてもそこは男の子、撥られて伸ばしきった鼻の下に漂う媚香に酔わされたか、漏れ聞くところでは、その後持たれた統合の打ち合わせでは自らが野に下って高高会に吸収されることを二つ返事で快諾したらしい。この趨勢に県女の先輩たちも加わって電光石火、三者が仲良く手を繋いですんなり誕生したのが我々が[東京玉翠会]である。ところで、この「玉翠」……と、名付けた由来や経緯に就いて私は知らないが、素敵な名前だ。多分、「讃岐」に掛かる枕詞の「玉藻よし……」と、県女の同窓会名であった「晩翠会」から一文字ずつを取って合成したのだろう。ちなみに、あの美しい暗緑色の宝石「ヒスイ」を中国語では逆にして、「翠玉=つオエイ・ユイ」と、言う。面白い。

この東京玉翠会は今年で20回目になるそうだが、目出度いことだ。ところで、この母体である高高会が発足したのは何年だったか失念したが、中心となって初代の幹事をやった我々二六会が丁度42歳の男の厄年だったことは確かだし、それ以来、年度幹事を次の学年が厄落とし宜しく順に引き継いできたし、今年で我々は70歳の古希を迎えるから、70-42=28……で、通算するとそれくらい前になる筈である。この高高会の発足当初から玉翠会に掛けて会の最後に歌う校歌のピアノ伴奏を十数年に亘って私が一手に引き受けてきたが、その後、フランス和声に則って本職のオーケストレーション(管弦楽編曲)したものをシンセサイザー(電腦楽器)に入力し、その高価な音源をカセットテープに落として人知れず会に寄贈した。暫くは大切に使っていたのに、最近、事情を知らない若い幹事たちはまるで微臭い骨董品とでも思うのか、この労作を無下にもおクラに仕舞い込み兼ねない気配である。聊か愛惜の念に堪えないが、そのうち、このテープの音楽的な価値に気付いてくれて、単なる杞憂に過ぎなかったと安堵する日の来ることを期待しよう。ともあれ、この幹事たちの熱意には感服するし、特に動員の努力は大したもの、地元ではなく、遠く離れたこの東京で毎年千人近くの仲間が集まる高校の同窓会は全国でも他に類を見ないだろう。生みの親の一人としては誇らしい限りである。

歌会始めに入選して 卒業五十周年記念の年に思う

昭和27年卒 工藤 政尚

平成14年宮中歌会始めの予選者、工藤政尚君の横顔

久保 醇治

私たち27年卒は、今年、高高卒業50周年同窓会を、JR高松駅前の「全日空ホテルクレメント高松」(5月18日)で挙行了しました。勿論、工藤政尚君も参加し、宮中歌会初めの体験を、参加同級生300人の暖かい視線をあげて語りました。

工藤政尚君は、高高時代、バドミントン部の創設と強化に力を尽し、自ら国体3年連続出場を果たした、明るく、誠実な友人思いの好漢で、これ迄50年以上交友を深めていながらも、和歌をたしなんでいる事をおくびにも出さない奥ゆかしい人物です。

昨年末に、23,600人の中の10人の氏名がTV・新聞で発表され、そこに同君の名前を発見した時、高高27年同級生一同、驚きと感動に混じり、和歌と工藤政尚君との繋がりがイメージとして合わず困惑しました。改めて、東京玉翠会の皆さんにご紹介します。

すでに半年も前のことで恐縮ながら、私の短歌が新春恒例の宮中歌会始めの選歌に選ばれるという思いがけない栄に浴した。もとより、私に力があってのことではなく、ただ、幸運のひとつであった。というのも、私の作歌は独学で、どこに発表するわけでもなく、自分の楽しみで作ってきたもので、二万三千首を超える応募の中の十首に入るなどは、僥倖としかいいようがないからである。

それも短歌好きだった私の母が、生前、毎年のように詠進する姿を見ていたので、その果たせなかった"歌会への夢"を、代わって叶えてやりたい一念で、ここ十年ほど断続して出してきたものである。それだけに私の入選は、母の何よりの供養になったかと、その意味ではまことに嬉しく、彼岸のかなたから「アッパレ！」のかけ声も聞こえてくる思いであった。入選歌は、長い避難生活を強いられている三宅島のお年寄りを見舞ったときの心情を詠み、お題の"春"を希望におき換えて、必ず帰れる日がくることを信じて、頑張っしてほしいという励ましの気持ちを歌ったものである。

噴気たち 泥流島をおほふとも 海青ければ 春の待たるる

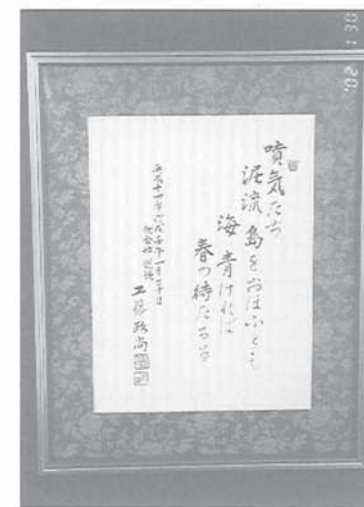
五句三十一音に圧縮した思いは、散文とは違った、短歌特有の表現に生かされたかと思っている。

ともあれ、全ては"天のおかげ、地のおかげ、みんなのおかげ"であり、世上の一切に感謝しているところである。中でも高高同窓の皆様には、入選に際して、数多くの祝電やご祝詞をお寄せいただいた。また二七会からは、同期の陶芸家鈴木道雄君の作品、"富士染付陶額"を記念に頂戴した。紙上をお借りして、改めて各位に御礼を申し上げる次第である。

たまたま今年、私たち二七会の卒業五十周年に当たり、去る五月十八日、高松の全日空ホテルクレメントに六人の恩師をお招きし、二百八十余人が参集して、盛大な記念同窓会が開催された。終戦の翌年に旧制高中、県女に入学した私たちは、そのまま高松高校に進んで、男女それぞれに丸六年間を共に過ごした。それは、焼け跡からの出発であり、混乱と復興の中の青春であった。私たちの学年が強い絆を保ち続けている所以であろう。

加えて、まとめ役の名手、久保醇治君の存在は奇跡的であり、彼の同窓への思い入れと四十余年に及ぶたゆまぬ尽力が、東京二七会今日の結東と隆盛に、大きな貢献をしてくれたものと心から感謝しているところである。

とはいえ今、古稀を迎えようとする私たち二七会の先行きは、そう長くはないといわねばならない。少なくとも、過ぎ去った半ばほどの歳月も残されているであろうか。それだけに、これからの時間は貴重であり、一層、交流の密度を高めなければならない。そして、豊かな共通の話題を持つ者たちの、時に立ち戻るべき原点として、高高同窓会の温もりを大切に、長く楽しみたいものである。



二七会から贈られた陶額



鈴木道雄君作

幹事雑感

昭和40年卒 末包 昭彦

昭和40年卒が担当したのは第7回総会(平成元年)でした。稲垣徹君を代表幹事に42名の幹事団で対応しました。今、手元に平成元年6月18日付の東京玉翠会宛の請求書があります。その中の明細書には、品名に「スライドプロジェクター」があったり、金額が「特別割引」と書かれていたりしています。この年は1月に昭和天皇の崩御があったことから、テーマを「母校の昭和史」としてスライドを用いたのですが、写真集めやスライド作成に予想以上の苦勞をしました。今であればあんなに苦勞しなくても、その後のパソコンの急速な発達と普及を羨んで(?)います。「特別割引」は経費を抑える手段の一つとして、ホテル側と粘り強く交渉した成果の表れでもあります。請求書を眺めていると当時の様々なことを懐かしく思い出します。また、私たちは事務所等を保有している者がいなかったため、会合の度に場所の確保に走り回ったことも懐かしい思い出です。この総会を幹事団の一人として担当したことに加えて、東京高高会の時から幹事をしてきたこともあり、多くの分野の同窓の人達と親しくなることが出来ました。一般社会の人達と接触する機会の少ない自衛官の私にとって、これは大きな財産だと思っています。平成10年3月、私は北海道に転勤、昨年末には東京を飛び越して一挙に福岡まで来てしまいました。今年も総会に出席出来ないのが残念です。

(陸上自衛隊第5施設団勤務、福岡県小郡市在住)



ひよんなことから幹事役に

昭和44年卒 片山 秀樹

私ども昭和44年卒業組が東京玉翠会総会の運営を担当したのは、ちょうど高松高校の創立百周年にあたる平成5年でした。その年は第11回総会にあたり、前年の43年卒業の方々による第10回記念総会と高松での高松高校創立百周年記念式典のはざ間でもありましたので、恥ずかしくない会にしようがんばりました。偶然とは言え、重要な年の総会を担当させていただいたことは、大変光栄なことでした。

ところで、私がこのような大きな大会の幹事役になったのにはわけがあります。たしか平成元年のことだと記憶しておりますが、夜自宅に帰りますと、あのインターポール(国際警察)から電話があったとの伝言があり、びっくりしました。当時私の兄は(高松高校昭和42年卒ですが)海外勤務中でしたので、てっきり兄に何かあったのだと不安に駆られながら、その方に電話をいたしました。ところがそのインターポールの方は、ちょうど兄と同じ昭和42年卒業の方で(失礼ながら、お名前は失念いたしましたが)42年の幹事の方でした。その方は、そろそろ44年卒も幹事年が近いこと、また平成3年には受付を頼まなければならないので、私に44年卒組の幹事役になってほしいとの事でした。兄への心配が先に立っておりましたので、ついつい重責であることも忘れて引き受けてしまいました。

幹事を引き受けたものの、私には高校時代の友人が少なかったこともあり、メンバーを集めるのに大変苦労しました。幸い、都庁に勤める長嶋君が中学時代からの友人であり、顔が広いこともあって彼の尽力で何とかコアメンバーを集めることができたのです。また、女性軍は中央調査に勤める遠藤さんに大変お世話になりました。結局今でもこの3名が幹事となっているのです。

それからの経緯は、どの年次の方も同じだと思いますが、受け付け年、幹事年を乗り切るために、3年以上にわたり何度も打ち合わせをした後、総会を迎え、翌年には余裕を見せながら、次年度幹事に指導をするといった流れでした。その中でも、大先輩である大西昭一郎先生には大変お世話になりました。わからないことはすべて先生にお聞きしながら進めましたので、大西先生にとっては厄介ものであったかもしれません。

ところで、何回かの打ち合わせ会の後、「二次会には参加するが総会はどうも…」という人々、特に主婦層を確保するため、総会の目標として「総会でありながら、同期会でもある」ことを目指しました。しかしながら、時間的關係、金銭的關係から、総会出席者人数も若干減少するなど、必ずしも満足な成果を得られなかったことは残念でした。その後の幹

事の方々が、総会の質を落とすことなく参加費を安くすることで参加者増を実現した手腕には大変感銘いたしました。

私は広告会社に勤めている関係上、広告担当でもありました。ちょうど不況期であったのに加え、若干の未収もあり大変苦労した記憶があります。ただ、あの一太郎のジャストシステムを立ち上げた同期の浮川女史をはじめ、法律事務所、会計事務所、病院などで、独立して精力的に活躍している母校出身者が多いことを知ったことは私自身にも大変励みになりました。

東京玉翠会総会運営を担当して、母校とのつながり、友人との絆が一層深まったことが一番の喜びでした。前述しましたように、高校時代にはあまり友人もいませんでしたが、この活動を通じてたくさんの友人が増え、今でもメンバーに何かあるたびに集まって楽しく過ごせるのも、東京玉翠会総会にかかわることができたおかげだと感謝しています。



打ち合わせのあとの楽しいひととき

総会幹事を振り返って～

昭和50年卒 淵崎 正弘

1. はじめに ～ 総会担当まで

私は東京玉翠会発足当初から50年卒業生の幹事をやっておりますが、決して熱心な同窓会生でも幹事でもありません。ただ長い間携わった経験から、今後の総会運営の参考になる部分があればと思って寄稿をお引き受けした次第です。

幹事が余り熱心でありませんでしたので、過去の総会でも50年の参加者は通常2-3名、たまに5-6名集まると凄い!と驚きが洩れる有様でした。

転機が訪れたのは総会幹事2年前の受付担当年度からです。幸運にも関西から強力でのりのいい男性・女性の同期生が転勤で加わり何とか40人強の同期生を集め無事乗り切りました。

2. 総会本番まで(1) ～ コンセプト作り

総会を担当したのは1999年でした。開催月は時あたかもノストラダムスの予言の月、景気も悪い先行きの不安感も漂う時期でしたのでこういう時こそ元気を出そうと「元気」をテーマにしました。ただ総会の運営については永年の参加体験から幾つかの問題意識を持っていました。1つは会費が高すぎることです。特に家庭の主婦にとってはパーが高すぎないか。2つ目は催し物やプログラムにカネと手間がかかりすぎ、このことが広告への過度の依存、幹事負担増に繋がっているのではないかと、ということでした。

この問題意識のもと総会運営の考え方を「簡素化」におき、3月の第1回全学年幹事会でそのことを全面に出しましたところ、大失敗でした。幹事の手抜き・意欲不足ととられてしまったのです。全学年幹事会の後、50年幹事の有志でヤケ酒を飲みながら反省会をしました。結論はやり方が中途半端だったということです。この際思い切って会費を値下げしよう、そのために徹底的にコストを下げ、場合によっては赤字になってもいいではないかと。会費については男性7千円、女性5千円、学生3千円とし、2年前からすると特に女性は3千円の大幅引き下げとしました。

第2回の全学年幹事会の前に基本方針の了承を取っておくために常任理事会を急遽開いて頂き、①会費を大幅に引き下げたい ②そのために赤字会計も許容して頂きたい、赤字部分については一般会計から補填して頂きたい、という点をお諮りしました。結論は、極めて健全な感覚と思いますが、②については賛同を得られず、その結果900人以上の集客と広告の必達、徹底したコスト削減が必要となったのです。

3. 総会本番まで(2) ～ 推進期間

900人以上の動員という目標については、宴会好きの幹事に加えてとりわけ女性幹事団の推進力が強力で、全学年幹事の懇親会や若手との交流会による事前の地ならし、電話ローラー作戦が効を奏し、本番では950名を超える過去最高の動員を記録しました。

広告も不況にも拘わらず、高松の幹事会が大いに協力してくれ、目標を達成することが出来ました。

催し物は手作りで参加型・体験型イベントの方が安上がりで注目を集めるのではないかとということで、手打ちうどん研究家の先輩に「うどん道場」を開催していただき好評を博しました。

プログラムも幹事団自らワープロ原稿を作成・持込をすることによりコスト削減を図り、ホテル代も限界まで値引き交渉しました。

本番は概ね計画どおりであり、盛会であったのではないかと思います。

4. これからの運営に向けて

総会の今後についていくつか課題をあげますと、

- ①会費はまだ高いと思います。大抵は1次会・2次会がセットですから、合わせて1万円という水準に持ってゆくのが理想です。催し物やパンフレット、会場の更なる見直しが課題です。
- ②広告の高松への過度の依存はなんとかならないものかと思っています。高松へ十分なお返しが出来ているかを考えると関東地区居住者の出稿比率をあげるか、最低限の広告収入で運営できる収支構造に持ってゆく必要があります。
- ③幹事負担の大きさも課題です。私も幹事年度は勤務時間のかなりの部分を割いた気がします。白髪も増えました。家族の理解も薄く、配偶者からは「ようやるワ」の一言で、辛いものがありました。

もちろん良かったこともたくさんありました。幹事を機に50年の同期会は定例となり、出身中学校同窓会やゴルフ会、温泉旅行会、独身者支援会へと様々な発展を見せています。年をとるにつれ自然に発生していたのですが、玉翠会総会幹事が大きな起爆剤となったことは確かでしょう。幹事仲間からも素晴らしい経験だった、東京で根無し草にならず改めてルーツを意識したテヨコの拡がりを感じた、という声も聞こえています。

東京玉翠会は同窓会としては恐らく日本最大でしょう。こんな同窓会をやっているという話をすると多くの人から驚嘆と賞賛の声があがります。私自身も幹事体験を元手に豊かな老後を目指して無理をせずネットワークを拡げて行けたらと思います。



力強く楽しい高校OBの輪の中に

神崎 幸子 (昭和52年卒 神崎 俊氏夫人)

東京玉翠会二十回を迎えられ誠にありがとうございます。幹事の皆様には、ご多忙の毎日とお察しします。かく言う私の夫も昨年、幹事の一員として充実した時を過ごさせていただきました。毎週末の打ち合わせ、連絡等々、私は何も手伝いをしなかったのですが、夫は、それはそれは熱心に幹事のお仕事を喜々となしていました。うーん、きっと"アフター打ち合わせ"も楽しいに違いない、と確信したものです。無事お仕事を終えた後、私は圧倒的な、力強い、そしてやはり楽しい高高OBの皆様のつながりを目の当たりにすることになりました。

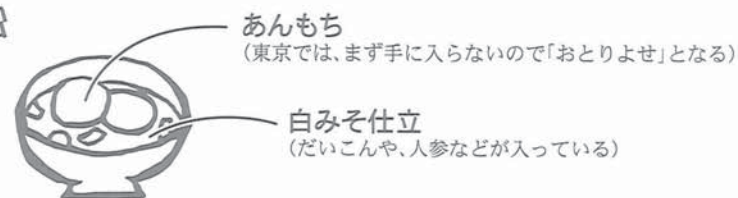
何度か集まりの輪の中に入れていただく機会に恵まれたのですが、その場は確かに高松そのものでした。言葉、食べ物、そして人が、高松一色。明るくて、楽しくて、部外者である私も、すぐにとけ込ませてもらえる包容力のある空間。とりわけ女性達の素晴らしいこと。皆、目が生き活きて、各々個性あふれた方々で、パワーを感じました。何故こんなに元気なのでしょう。瀬戸内の魚を食べたから？ 餡餅の雑煮、それともおいしい讃岐うどんのせいでしょうか。仕事、生活、家族の話題と、話は尽きません。何て聡明でチャーミングで明るくて、元気で。きっと、何十年もこうして高松の高校でこのような美しい女性達が男子生徒を引っぱって来たのだらうと、想像するのです。もちろん東京だけでなく、地元高松にいらっしゃる方々もそうに違いない・・・と親類縁者に思いを馳せ、再び確信します。この女性達を見守る、度量、見識の深い紳士的な男性達の存在も無論、忘れられません。同好会、愛好会の数の多さ、ラディカルで社会的なご活躍を拝見するにつけ、このエネルギーが、少し元気がない今の時勢にプラスにならないかしらと、期待しないではられません。

お蔭様で、狭い私の世界がパッと縦横に広がったように思えました。これからも皆様、益々お元気で、ご活躍の程を。そしてその輪の片隅に私も時々、夫の後ろで見え隠れしながらではありますが、参加させていただきたいと思う次第です。

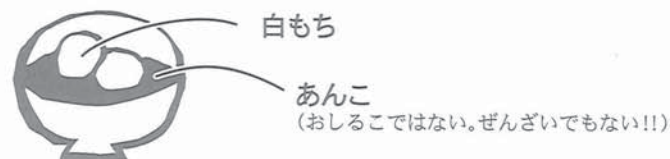
玉翠会がこれからも発展していかれることを祈りつつ。

私の 驚きの雑煮

① 高松



② 島根 (八束郡東出雲町) <私の親戚筋>



交友抄(平成会Version)

平成元年卒 齊藤 利幸

東京に出て、早13年。結婚もしていないのに、仕事にプライベートに、日々の忙しさに埋没しがちだ。が、そんな日々に、一服の清涼剤!とも言えるのが、東京玉翠会。仕事を離れて、私は平成元年幹事として、他学年幹事の方々と親しくさせてもらっているが、今日は、そんな幹事のうち、「平成会」(昭和63+平成以降の卒業生が集う会、まだ飲み会の域を出ないけど、これからですよ、これから!)の主要幹事を紹介しつつ、東京玉翠会のありがたさを考察したい。尚、ここでは、極めて勝手に、日経新聞風に「交友抄」と題し、それ風書き綴って見た。「何、偉い人の真似しよんや。下っ端ちゃうんか!」外野からの声は上がるが、まあ、ものは試し!書き綴ってみようではないか。

まずは「平成会」ホントの幹事 早川君(平成6年卒)。物事にACTIVな彼は、社会人になって、更に磨きがかかり(何にかは想像にお任せしたい・・・)、その明るさが、昨年、「平成会」を発足させた。おかげで、私も平成の長老とおだてられ、年甲斐(?)もなく、会長という「御神輿」にのってしまったが、その手腕はなかなかで、後輩ながら目を見張る思いである。

そして、この平成会を共に支えているのが、白瀬君(平成5年卒)と山口君(平成6年卒)。二人とも、そのルックスの良さに爽やかさを備えつつ、軽い冗談(ホントに軽いジョーク!)と共に、学年幹事として頑張っている。玉翠会をいい会にしようと一生懸命だ。仮長老ではあるが、そんな後輩達が玉翠会を下支えして張り切る姿は、若さへの対抗心が奮い起こり、高高の先輩でいられることに感謝する今日この頃である。

また、そんな平成な後輩達の中で、華やぎを添えてくれるのが吉野さん(平成3年卒)。雑誌編集者として忙しい日々のようなのだが、その合間を縫って、学年幹事としてキビキビ頑張る姿は、怠惰な方向に走る私を戒めてくれる、ありがたい存在である。

もっとも、元気付けてくれるのは後輩達ばかりではない。そもそも、私を玉翠会に誘ってくれたのは、一級上の奥本さん(昭和63年)。5年前の初夏、全くの偶然でバッタリ出会い、その場で、「久しぶりやの。今度、玉翠会いかへんの?」と昔変わらず、声をかけてくれたのが、ことの始まり。それまで、すっかり高高を忘れかけていた私であったが、今はこうして幹事まで担当させてもらっている。機縁の不思議さと共に、やはり、郷土の先輩というのは、ありがたいものだと思ふ次第である。

一人一人の仕事密度が高くなっている現代の東京。平成な若者も、ややもすれば、仕事中心の人間関係の中で、単調な日々に陥りがちだ。そんな日々を起伏に富み、豊かにするものは何か。人により答えは様々だろうが、やはり、ごくごく自然な感情で結ばれた人間のつながりは、人の心に癒しと励ましを与えてくれる。幸いにも、東京の高高卒業生には、母校を通じた結びつき「東京玉翠会」がある。平成会な若者withゆかいな仲間達としては、先輩達が発見・創造した、この「生きるヒント」に感謝しつつ、玉翠会が、更に彩りを増すよう貢献していきたいと願う次第である。

さて、今日は誰が来ているだろう。久しぶりの出会いの中に新しい発見もある。それも、また、人生に彩りを添えてくれる楽しさである。

以上

追伸:最後はなんか、伊集院静のウイスキーの宣伝ぼかったですねまあ、まともな文章は佐治さん(平成3年卒)にお任せかな。という訳で、佐治さん、あとはよろしくね。

『縁やけん、えんちゃう』

平成3年卒 佐治 珠実

高々を卒業したのが平成三年の三月。その一月末まで通っていた木の温もりのある懐かしい教室で最後の卒業の日を迎えるつもりだった私は、その病棟のような白さの校舎に違和感を抱き、真新しい椅子のその堅さに、卒業式だからというだけのセンチメンタルさとは違う何か物哀しさを感じたのを記憶しています。

大学一、二年の頃は、東京に出てきていた仲の良かった元クラスメイト達と近況を報告しあうために集まることもたまにありましたが、そのうちに引越したり卒業したりで連絡がとれなくなり今は何処で何をしているのやら…。

東京玉翠会の存在を知ったのは確か大学二年の頃。新聞に載っていた小さな記事をたまたま見つけた親友からの連絡でした。ドキドキしながら総会に出掛けたその時の印象は『会費が高いやんけー(*_*)』確か学生でも六千円とか八千円?とかしたような…。その後しばらくパスしようと思っていたところ、就職した会社に63年卒の奥本さんがいて『佐治さんも高々なん?讃岐弁話さんけん全然分からなかったわ～。ところで玉翠会行くん?』と言われ、『うん。』と言ってしまった私はめでたくその後も出席すること幾度か…。それから数年が経ち、私はその会社を退職し、もう高々の人には縁がなくなったかと思いきや、次の転職先では専務が大先輩でいらっやっ! 44年卒の浮川(橋本)初子先輩は、一社員の私なぞご存じではなかろうが、私の中では高々つながりに運命を感じ(少々大げさですが)、その時なんだか妙に、高々という見えない糸が常に私の人生のどこかに触れていなければ前に進めないのではないだろうか…という錯覚に陥った訳です。

そうでなければ、昨年6月に、神田会という摩訶不思議な寄り合いに参加する第一歩となるワンクリックをしてしまう筈がなかったろうに! 総会の日程を調べようと東京玉翠会のホームページに訪れただけなのに、何故あの時神田会のページを見つけ、その上何故案内が欲しいと自らメールを送ってしまったのか? しかもすぐに岡崎先輩(37年卒)よりお返事を頂き、当日のプチ神田会に参加させていただくことになった一連の事象(己の行動も含む)に説明がつかないではないか! やはりこれは何者かに仕組まれている! いや導かれているとしか考えられないではないか! という訳でその後もそれに逆らわず、神田会にもぼちぼち参加させていただいております。(単なる飲み会好きの理由付けだったりして…) やはりこれも何かのご縁。出来の悪い後輩ではありますが面倒をみてやってください。これからもよろしく願いいたします。

十一年前に上京した頃の頃は、讃岐から出てきたくせに『私は都会の人ですよー』と言わんばかりに東京弁もどきを使っていた私ですが、最近は他県の人にも讃岐弁を駆使して、讃岐うどんやアン入り餅の白みそ雑煮を自慢げに話すことができるようになりました。それは、10年以上東京に身を置き、しばらく田舎を離れることで、その良さを再認識し、生まれた土地、自分を育ててくれた土地に感謝できるようになったからかな、と思います。

これからも心おきなく讃岐弁で讃岐のええところを語り合える場が増えていくことを願いつつ、形式的ではない、心が解放される"玉翠の輪"というものがどんどん広がることを心より祈っております。

第20回東京玉翠会総会の開催にあたり、懐かしい味と音楽について皆様から数多くのリクエストを寄せていただき、ありがとうございました。リクエストの結果は総会会場のメニュー、BGMに反映させていただいておりますが、全体の集計結果を以下にご報告させていただきます。ランキング上位は以下の通りとなりました。

【懐かしい味部門】		【懐かしい曲部門】	
1位	あずまや 43票	1位	高校三年生 14票
2位	ごんな 25票	2位	校歌／応援歌 7票
3位	学食 21票	2位	フォークダンス&スクエアダンスの曲 7票
4位	まとや 14票	4位	青い山脈 6票
5位	さか枝 7票	5位	心の旅 4票

【懐かしい味部門】

1位 あずまや

幅広い年代から支持を集めて堂々の1位となりました。終戦直後からという老舗の貫禄でしょうか。特にS45卒以前の年代では全73票中38票(複数回答あり)、50%以上、という絶大な支持を集めています。また、思い出のメニューがぜんざい〜うどん〜ローゼ(洋菓子)と幅広く、男女を問わず票を集めました。

○焼け跡の土塀で囲った小さな店であったが、「ぜんざい」のうまさは学年の間で大変な評判であった。(S26卒男性)

○喫茶店「あずまや」の洋菓子ローゼの味。あれは田舎中学から進学した私にとって高松の街の味、でした。(S41卒女性)

2位 ごんな

開店が昭和40年代というハンデがありながら、S46卒以降の年代では74票中25票34%という支持率を集めて2位。東門から徒歩1分という立地条件と、「うまいぶん」、「ええぶん」という、一度聞いたら忘れられないメニューが得票数に貢献しました。

○「ごんな」のラーメンがなつかしいです。うまいぶん(安いぶん)とええぶん(高いぶん)があって、野菜のいっぱい乗った、ええぶんをたべたいなあ...と横目で見ながら、うまいぶんを食べた思い出があります。(S48卒女性)

3位 学食

なんといっても立地条件(当たり前ですが...)と値段が人気の秘密でしょう。豆天入りのうどんを懐かしのメニューに挙げられた方も多くいらっしゃいました。

○いつも食べていた10円うどん。部活の後の空腹を満たしてくれたあのうどん。唐ガラシをふりかけただけの素朴な味。あれこそ私にとって讃岐うどんの原点となっています。(S30卒男性)

4位 まとや

かき氷という夏季限定メニューが看板ながら堂々のランクイン。店名を覚えていない方が多かったのは、かき氷というメニューの印象が強すぎたためでしょうか?

○高々近くの氷屋さん(名前忘れた)。時々休み時間に食べに行っていた。夏の終わりには氷一杯10円だったかな。そんな日があり、その時は、もう必死!?で食べに行っていた。(S48卒女性)

5位 さか枝

“おそろべきさぬきうどん”でも紹介されている、旧市内セルフ店では有名なお店ですが、番大側にあって場所がわかりにくいのが順位に影響したかも。うどんの玉数を自分で選べるので食べ盛りの一部男子学生からは熱烈な支持がありました。

○さか枝!! 高高生の主食!! (H7卒男性)

その他のお店へも多数のリクエストが寄せられました。

ライオン通り万寿苑: ライオン館のロードショーを観た帰りに支那ソバを喰うのが当時の豪遊だった。(S30卒男性) **巴堂**: 2時間目と3時間目の間の休み時間(たしか、お掃除TIME)に、ソフトクリームを食べにでかけてました。掃除さぼってたんかな?わたし。(S53卒女性) **三匹のこぶた(喫茶店)**: 降水確率で値段が変わるソフトクリーム&ボリューム満点のサンドイッチ(特にツナサンド) & 生ジュースが大好きでした。(S62卒女性) **味楽**: 野菜焼き天を頼み、パンの耳を細かくして入れてから焼くと、肉焼の味がしてとても美味しかった。(S58卒男性)

【懐かしい曲部門】

1位 高校三年生

S37卒〜S43卒の皆さんの支持を受けて見事1位に輝きました。高校時代の思い出の曲、としては当然の選曲といったところでしょうか。

○夏休み四国一周自転車貧乏旅行したことを、歌を聞くと思い出します。(S40卒男性)

2位 フォークダンス&スクエアダンスの曲

ほろ苦くも甘酸っぱい青春の思い出、といったところです。

○練習の時、誰とペアになれるかドキドキもの。(S30卒男性)

2位 校歌／応援歌

母校の甲子園出場を願って炎天下の市営球場で野球部を応援した記憶は鮮明に残っているようです。

○甲子園の時期になると何故だが思い出す、野球の応援のときに歌った応援歌。(S63卒男性)

4位 青い山脈

1位の高校三年生と並んで、昭和歌謡史における学園ソングの金字塔と呼べる名曲。S25卒〜S27卒の皆さんから支持をいただきました。

○昭和24年4月で高中と県女が統合、共学となった。その時、ちょうど映画「青い山脈」と唄「青い山脈」が大ヒット。「若者の前途はまさに洋々として…」の感じ…。(S25卒男性)

上位曲以外へのリクエストもご紹介しましょう。

恋の片道切符(ニールセダカ): 友人が英語の勉強と称して、「チュウチュウトレイン…」と口ずさんでいるのを聞いて勉強方法にもいろいろあるなと思った。(S36卒女性) **Mr.Lonely (Letter Men)**: 乙女チックな心情にキューンとくる曲調=青春でした。(S45卒女性) **夢は夜ひらく(藤圭子)**: ヒッキーの活躍を見るにつけ母君の、夢は夜ひらく、のメロディーとともに鬱々と悩んだあの頃を思い出します。(S49卒男性) **Killer Queen (Queen)**: 歌詞に「マリー・アントワネット」が出てくるというだけで、「ベルサイユのばら」に心酔していたわたしはチェックしていました。(S53卒女性)

【一般部門】

懐かしいお店や音楽以外にもコメントを寄せていただいておりますので一部をご紹介します。

宮脇書店: 毎月の受験雑誌を求めて宮脇書店の書棚をしばし物色するのが楽しかった。(S29卒男性)

このあたりは高松の面目躍如、といったところでしょうか。

ライオン館: 今もあるのでしょうか?随分通いました。当時は映画が最高の娯楽で予告編につられ、いそいそと出かけました。(S30卒女性) **たまやパチンコ店**: ジャンパーを着て(変身して)、「コラー出んぞォ」とガラスをたたいているオッサンを見たら〇〇先生だった。(S30卒男性)

昔は豪快な(?)先生方もいらっしゃったようで…

高松高校周辺お店MAP

昔食べた味が今も残っている。高校時代の昼ご飯だったかな。誰といっしょにいったんだろう。食べながらどんな話をしたんだろう。あっ、そうそう、あいつといっしょによく行ったんだ...。
なつかしい味は思い出の引出しを開ける。

1 ごんな(ラーメン・餃子)



ライスだけ頼んだら、スープをつけてくれた。ライスに餃子のタレをかけて食べる技も覚えた。ええぶん、うまいぶん、鳥めしもあった。そういう食券を買ったなあ。

2 まとや(かき氷)



玉子丼を食べた後、イチゴのかき氷をよく食べた。昼飯から帰ってきたら、皆の舌が赤かった。「おまえも食べたんか？」お店のメニューには書いてあるが、5年前からかき氷はもう無い。

3 巴堂(ぶどう餅/ソフトクリーム)



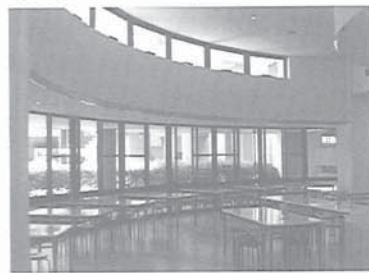
武道餅と書く。外はモチモチ、中はコナコナ、あんまり食べるとのどにつかえそうになった。このソフトクリームは、日本一やと信じた。



4 県庁食堂(うどん/その他いろいろ)



5 学食(うどん/きつね寿司)



安さと、いろんなもんがあったんが魅力。団体で行き過ぎてしょっちゅう問題になった。校内放送で生徒は行かんように注意されたけど、ほとぼりがさめたら、また行っとった。

ちょっとだしが薄めやったから、七味をいっぱい入れてパンチをきかして食べた。3時間目の休み時間に早弁して、昼飯は学食のうどんが習慣やったこともあったなあ。

6 さか枝(うどん)



玉売りはせず、あくまでも店に来て食べてなんぼの店。麺のコシに命をかける職人魂のおやっさんがおって、おばちゃんもおって、よう通ったなあ。

7 番丁(うどん)



高松生は学割10円引きやった。日替わりのうどん定食がお勧め。今は、ざるうどんの上にきざみ海苔がかかるとるけど、昔は、刺身を盛る舟盛りの器でワカメがのつた。うまかったなあ。

8 ふみや(お好み焼)



おやっさんのキャラに尽きる。追加注文するとめっちゃ不機嫌。「早う言うてや。」玉子の殻を投げる角度で機嫌が分かった。お客はただひたすら食べるのみ。もつ玉が一番人気。

9 アズマヤ(ぜんざい/クリームぜんざい)



ぜんざいに入っているお餅がとっても香ばしい。あずきの甘い汁を吸ってなんとも言えん食べごろの状態を出してくれた。冷たいぜんざいとソフトクリームの取り合わせも絶妙やった。ローゼットのものもあった。

特集《首都圏のおいしいうどん屋さん》

「なんと一!!」

昨年末、都内某所のうどん屋に集まった我々53年卒広告担当の面々は驚きの声をあげた。こともあろうにリーダーのM隊長が「我々が食べ歩いて旨いと判断した東京のうどん屋から広告を貰う」と宣言したのであった。

「けど東京に我々讃岐人の舌、いや喉を満足させるうどん屋なんかないで」とK隊員の声にうなずく一同。

皆様も東京の讃岐うどんに何度も裏切られた経験をお持ちだと思うが、当然我々も「うどんは本場讃岐に限り東京のうどんはとても食べたものではない」という東京讃岐うどん否定派であった。

しかし頑固一徹42歳独身おっさんM隊長の説得は続く。

「名著『恐るべきさぬきうどん』が火をつけた本場讃岐の秘境うどん巡りブームは知っとるやろ。いまや村上春樹が東京から飛行機乗って香川までうどん食べに行く時代や。東京人も本場の讃岐うどんの美味さに気付いたっちゃう訳や」「この店も見ても、外には行列ができて。メニューも釜玉あり、あつあつ、ひやひやと本場並や」

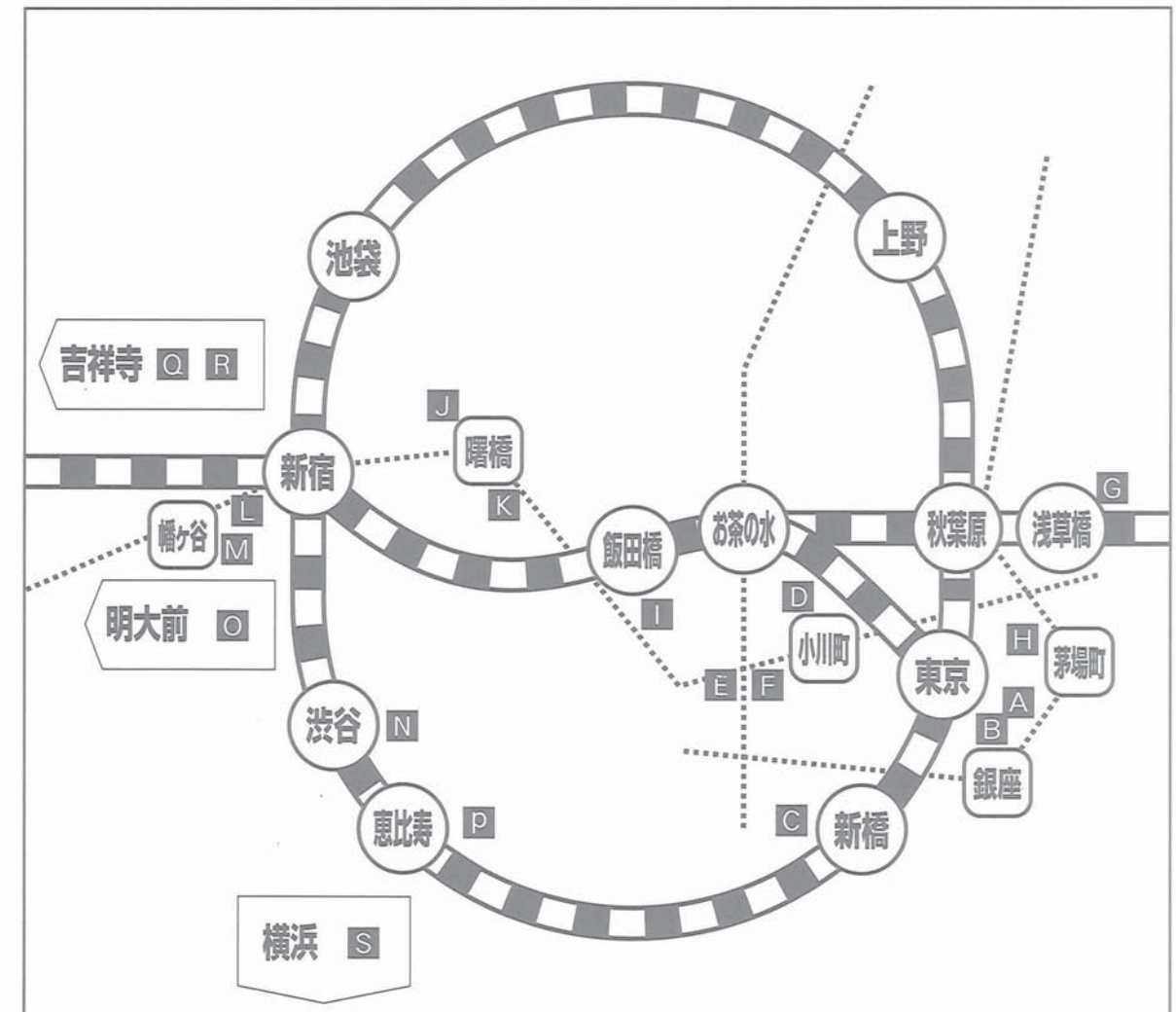
かくして半信半疑ながらその店のうどんを食した我々は「おおっ、東京にこんな旨いうどん屋があったんかー!」と感動し、更に「香川の方ですか。広告? いいですよ。香川の人には是非食べにきて欲しいですから」という寛大な店主にもまたまた感動。

それから半年間、旨いと評判の店で失望したり、うどんのレベルは高くても広告が断られたりと、にわか麺通団の活動は続いた。

今回広告を頂いたお店は旨いだけでなく、東京の香川県人に旨いうどん屋を教えてあげたいという我々に快くご協力頂いた心暖かきお店ばかりです。

是非、この特集を片手に東京うどん巡りをし、自分に合ううどん屋さんを発見して下さい。

首都圏のおいしいうどん屋さんマップ



- | | |
|--------------|--------------|
| A ……さか田 | K ……こびんちょ |
| B ……人と木 | L ……一滴八銭屋 |
| C ……おびっぴ | M ……げんしゃラーメン |
| D ……めんシャングリラ | N ……高松 |
| E ……野らぼー | O ……屋島 |
| F ……ですけ神田店 | P ……ですけ恵比寿店 |
| G ……めんくい | Q ……綾川 |
| H ……鳥仲 | R ……葱坊主 |
| I ……三升 | S ……さぬき屋 |
| J ……さぬきのうどんや | |

さか田

■住所：中央区銀座1-5-13 仰秀ビル2F Tel: 03 (3563) 7400
 ■アクセス：銀座1丁目みずほBKから有楽町方面へ、UFJ銀行角を右折しすぐ
 ■営業時間：11:30-14:00LO、17:30-22:00LO (土11:30-15:00LO) 日祝休

『恐るべきさぬきうどん』にも登場する、東京の讃岐うどんブームのパイオニアのお店。銀座という土地柄なのに良心的価格もうれしい。徳島出身という店主の坂田さんは、どこかほっとする風貌でいつも忙しく走り回り、この店主の人柄に惹かれて来店する人も多い。人気店なので、混む時間を外して行きましょう。

人と木

■住所：中央区銀座6-6-14銀座パレスビル4F Tel: 03 (5568) 5586
 ■アクセス：地下鉄銀座駅より徒歩2分 ソニー通り沿い
 ■営業時間：18:00-24:00 土日祝休

我らがマダム53年卒長尾みどりが切盛りする銀座のショットバー。といっても決して敷居は高くなく、夜毎に玉翠会の老若男女が顔を出す。もしあなたが立ち寄られたなら、一言「高高OBです」と名乗って下さい。そこには必ず同窓生との出会いがあることでしょう。締めに出てくるうどんが美味しい(柚子胡椒がお勧め)のでこの特集で紹介。

おびっぴ

■住所：港区西新橋1-20-11 TEL: 03 (3501) 2569
 ■アクセス：新橋駅烏森口から虎ノ門方面へ徒歩8分 弁護士ビル隣
 ■営業時間：11:00-15:30、17:30-21:00 土日祝休

47年卒の氷上正さん、53年卒氷上(土居)幸代さんご夫婦のお姉さまの店。昼時はいつも新橋界隈のサラリーマン、OLで行列ができる老舗讃岐うどん店。しっぽうどんはじめ、地元讃岐の懐かしいメニューが並んでいる。出前もやっていますので官庁街の方どうぞ利用してみてください。

野らぼー

■住所：千代田区神田錦町1-8-11 パシフィック錦ビルB1 Tel: 03 (3295) 5121
 ■アクセス：美土代町交差点より10m。神田YMCAのといめんの地下1F
 ■営業時間：11:30-14:00LO、17:00-21:30LO (土11:00-14:00LO) 日祝休

「野らぼー」とは讃岐弁で「野良仕事をしない怠け者」のこととか。店主の氏家さんは普通寺出身で、メニューにはあつあつ、ひやあつ、ひやひや、釜玉という讃岐人の心をくすぐる文字が並ぶ。しかも期待を裏切らない味で、サラリーマン、OLが昼も夜も列をなす。今年1月には鎌倉橋店もオープン。

めん シャングリラ

■住所：千代田区神田淡路町2-4-6 TEL: 03 (5256) 8208
 ■アクセス：淡路町駅A3出口すぐあさひBKを左折し一ツ目の角
 ■営業時間：11:30-14:00、17:00-23:00 土日祝休

めんシャングリラ、その名もナント麺の理想郷!!という驚愕の店名。讃岐人たるや一度は巡礼すべき聖地といえるでしょう。長尾出身の肝っ玉母さんが切り盛りし、昼の定食は安くてボリュームがあり大満足。また、芋焼酎好きな方に朗報、「伊佐美」が飲めますよ。

讃岐うどん さか田

〒104-0061 東京都中央区銀座1-5-13
 仰秀ビル2F
 TEL 03-3563-7400

手打ち讃岐うどん おびっぴ

営業時間
 昼の部 11:00~15:30
 夜の部 17:30~21:00

官庁街出前うけたまわります。

港区西新橋1-20-11 弁護士ビル隣
 ☎ 3501-2569

讃岐うどん 野らぼー (ほのほの)



●住所 千代田区神田錦町1の8の11B1
 ●電話 03・3295・5121
 ●営業時間 (日・祝日休み)
 昼11時30分~14時くらい
 夜17時~22時くらい(土曜夜休)

めん シャングリラ

手打ちさぬきうどん・割烹・地酒

ランチタイム 11:30~14:00
 夜の部 17:00~23:00



〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-4-6
 エフアンドエフロイヤルビル1F
 ☎ 03-5256-8208

でですけ

- 住所：千代田区内神田1-15-10 福島第一ビルB1 Tel: 03(3292)8611
- アクセス：美土代町交差点より神田駅方面へ右手3つ目のビルのB1
- 営業時間：11:30-14:00、17:30-22:30LO 土日祝休(神田店)
11:30-14:00、17:00-28:00 日曜のみ24:00まで(恵比寿店)

47年卒千葉(十河)君代さんの実弟が社長。ぶっかけ、かまあげ卵うどんといったメニューがうれしい。夜は七輪で干し魚を炙りながらお酒も楽しみ、店舗が広く宴会もOK。
日本酒、焼酎とも種類が豊富で、若い店員さんの対応も気持ちよい。
神田店のほか恵比寿店もあり、高高OBと言えば特典があるかも。

めんくい

- 住所：台東区柳橋1-26-1 サワービル1F Tel: 03(5825)2609
- アクセス：都営浅草橋駅東口 総武線のガードを隔田川(東)方面に徒歩5分
- 営業時間：11:00~15:00 17:00~21:00 日祝休

おでんや天ぷらの種類も豊富で地元の人たちで賑わう庶民的な讃岐うどん店。平日の昼間はこちらではめずらしいが讃岐人にはお馴染みのセルフ形式で営業をしている。店主は高松出身の方で、めん・つゆ・じゃこ天等は讃岐直送だとか。自家製のしょうゆ豆もあります。

鳥仲

- 住所：中央区日本橋茅場町3-2-3 Tel: 03(3661)8748
- アクセス：茅場町駅から徒歩5分 鉄鋼会館裏、赤ちょうちんが目印
- 営業時間：17:00-23:00 土日祝休

38年卒中野京子さんご夫婦経営の焼き鳥屋さん。
42歳花嫁募集中おっさんM隊長曰く、ここの鳥わさは絶品とか。
美味しくて価格も良心的とあって店はいつもサラリーマンで賑わっている。メニューにはないが注文すれば締めうどんも味わえるので、この特集で紹介。

三升

- 住所：千代田区飯田橋4-5-16 Tel: 03(3261)9588
- アクセス：JR飯田橋駅から徒歩通りを九段下方面へ徒歩5分。東日本BK先。
- 営業時間：10:00-21:30 日曜定休

ご主人は高松出身。火曜じゃこ飯、金曜五目ちらしの日替わりメニューが人気。また、三升オリジナルの味噌うどん、肉もやしうどんの一杯で二度美味しい食べ方はここでは秘密。お店の人に教えてもらってください。夜のつまみも多数あります。

さぬきの うどんや

- 住所：新宿区住吉町6-12 Tel: 03(3350)9688
 - アクセス：都営新宿線 曙橋駅A2出口1分。みずほ銀行CD専用コーナー横の路地
 - 営業時間：昼11:30-14:00、夜16:30-20:00 日祝休(売切れじまい)
- 思わず通り過ぎそうになるカウンター9席だけの小さな店。だが、小さいといっても侮るなかれ。DANCYUにも掲載された実力でいつ行っても満席で人気の程がうかがえる。
東北出身だが香川で修行したという店主は、讃岐人にも劣らぬうどんへの情熱を持つ。オプションで天ぷらを選べるのもうれしい。

1999年に東京、内神田にオープン
ジャズの流れるモダンな店内は
最大40名様までのご宴会を承れます

〒101-0047
東京都千代田区内神田1-15-10 福島第一ビル B1
TEL 03-3292-8611

ランチ 11:30~14:00 夜 17:30~23:00 (LO 22:30)
土・日・祭日定休
<http://www.t-hot.com/dedesuke/>



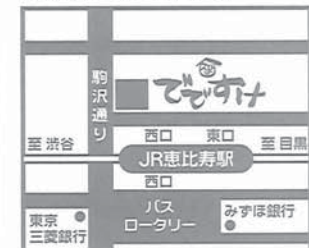
本場讃岐の手打ち饅頭と
炭火の炙り焼きにこだわった店です。

JR恵比寿駅の駅前にありながら
静かな大人の隠れ家のお店です。
離れ風個室から、60名様までのご宴会まで、
用途に合わせてご利用いただけます



〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1-8-14 大黒ビル2F
TEL 03-3444-5511

ランチ 11:30~14:00
夜 17:00~4:00 (日・祭日~24:00)
年中無休
<http://www.t-hot.com/ebisu/>



47年卒 千葉君代(旧姓 十河) 連絡先 03-3714-4333 (エス アンド カンパニー)

こびんちよ

- 住所：新宿区荒木町21-24 Tel: 03(5363)6858
- アクセス：都営新宿線 曙橋駅A4出口から外苑東通りを四谷3丁目方面に徒歩2分
- 営業時間：18:00-翌4:00 日曜定休

店に入ると目に飛び込んでくるのは、うどんを茹でる大きな釜。田舎風だが落ち着いたお洒落な雰囲気店内には女性客やカップルも多い。夕方から深夜4時までの営業で、おいしいお酒とうどんが夜中でも楽しめる。普通寺出身の店主がつけた店名「こびんちよ」とは讃岐の方言で「子供」のこととか。

一滴八銭屋

- 住所：新宿区西新宿1-15-9 柳沢ビル2F、3F Tel: 03(3342)8889
- アクセス：新宿西口ヨドバシカメラの裏
- 営業時間：11:00-14:30、17:30-23:00 定休日なし

34年卒大藪恵弘さんの息子さんのお店。お店のポリシーは「たった一滴の汁にも八銭のお代をいただいている」私たちはその重みを肝に銘じ、魂を込めて、うまいものとうまい時間を作り続けます。」オリジナルの創作うどんもあり、夜は30種類ほどの酒肴も出す。

げんしゃ ラーメン

- 住所：渋谷区本町1-20-2-104 Tel: 03(3376)8482
- アクセス：京王幡ヶ谷駅北口より甲州街道を新宿方面 徒歩3分
- 営業時間：11:30~26:00 水曜定休

「げんしゃ」とは讃岐弁で「金持ち」のこと。こくはあるが比較的あっさりしたとんこつラーメンのお店。このコーナーの中では唯一うどんが食べられないが新橋「おびっぴ」の息子さんが経営しているお店です。ラーメン激戦区甲州街道沿いで頑張っています。うどんに飽きたらげんしゃラーメンを是非!

高松

- 住所：渋谷区渋谷3-7-7 窪田ビル1F Tel: 03(3406)0865
- アクセス：JR渋谷駅より徒歩3分。渋谷警察ウラの路地にある
- 営業時間：平日・土曜日11:00-14:00、17:00-23:00 日祝休

37年卒藤村(岡)節子さんのお店で、幹事会や神田会で皆さんお馴染みの高松。お座敷も用意されており同窓会にもびったり。ラストオーダーが22:30なので飲んだ後にもOK。宴会の後は裏メニューのたらいうどんがおすすめ。今年2月の神田会では懐かしい白みそあん餅の雑煮を作っていただき大好評でした。

屋島

- 住所：世田谷区松原2-24-15 谷川ビル1F Tel: 03(3325)2138
- アクセス：明大前改札口を出て斜め右方向にあるいて1分のところ
- 営業時間：平日 11:00~15:00、17:00~22:00
日祝 11:00~20:00 土曜定休

屋島の出身というご主人が井の頭線明大前に店を開いてなんと32年。某企業の重役を務める某OBは香川から戻ったその足でこの店のうどんを食べにくるとか。注文が揃えばメニューには載っていない「釜あげ」(玉子入り)、醤油豆といった裏メニューにもありつけるかも。

綾川

- 住所：武蔵野市吉祥寺南町1-1 Tel: 0422(22)7928
- アクセス：吉祥寺駅ビル ロンロン B1 地下食堂街
- 営業時間：平日・土曜日11:00-22:30 第3水曜日休

25年卒大林正明さん、26年卒大林(旧姓久保)美佐江さんご夫妻が30年前に開いたお店で、現在は息子さんが経営している。駅ビルという場所柄、客層が幅広く蕎麦にも自信あり。鯉節・昆布など厳選された素材で作っただしにはこだわりを持っています。



うどん茶屋
めんくい

東京都台東区柳橋1-26-1
サワービル 1F
TEL. 03-5825-2609



都営新宿線 曙橋駅 A4 出口より徒歩2分
丸の内線 四谷3丁目駅 2 出口より徒歩5分
高い時間
午後6:00~翌日4:00 ラストオーダー3:45
日曜定休
東京都新宿区荒木町21-24
電話 03-5363-6858

讃岐手打うどん
四国活魚料理

高松



〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-7-7 窪田ビル1階
電話 東京 (03) 3406-0865

さぬきのうどんや

東京都新宿区住吉町6-12
電話 03-3350-9688

営業時間 昼11:30~14:00
夜16:00~20:00
〈売り切れじまい〉

四国本場 手打うどん料理

屋島

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-24-15 谷川ビル1階
電話 (03) 3325-2138

東京玉翠会ゴルフ同好会の活動報告

東京玉翠会ゴルフコンペ幹事一同(S53年卒有志)

東京玉翠会ゴルフ同好会は昨年10月28日に第15回、本年5月26日に第16回目のコンペを開催しております。今回はコンペ幹事を務めました53年卒有志によるコンペ結果の報告をもって、ゴルフ同好会の活動報告とさせていただきます。

第15回コンペは平成13年10月28日に、埼玉県の「おおむらさきGC」にて28名の参加で7組にて開催されました。優勝者は32年卒の森田健一先輩でしたが、女性優勝者は女性の参加が2名のみだったため設定できませんでした。優勝された森田先輩もグロス81の好成績でしたが、ベストグロスは38年卒沼田敬純先輩、52年卒折目尚也先輩がともに79という、我々アベレージゴルファーにとって憧れの80台を記録されています。また、最年長参加者は19年卒の藤本 弘先輩、最年少参加者は63年卒の乙川みち子さんでした。

第16回コンペは平成14年5月26日、千葉県の「カントリークラブ ザ・ファースト」にて、同じく28名参加、8組で行われました。前回参加されなかった打越祐会長と、しばらくお休みされていた中村文俊先輩が参加され年長組の貫禄を披露されました。最年少は我々53年組で、あろうことか、ブービーとブービーメーカーを53年で独占する、逆ワンツーフィニッシュを成し遂げてしまいました。優勝は51年卒の辻 敬三先輩、女性のトップは43年卒小島 豊子先輩でした。残念ながら今回も女性の参加が3名にとどまってしまいました。また、ベストグロスは43年卒の松島孝信先輩でしたが、33年卒垣見昌美先輩、38年卒沼田敬純先輩との80台での攻防もハイレベルで見応えのあるものでした。

15回、16回ともに参加者が28名と以前に比べて少なくなってしまったことは幹事としましても残念であります。今後は常連の諸先輩の参加はもちろん、若い方々の新規参加を期待しつつ、20回、30回と末永くこのコンペが続くことを祈念する次第であります。

尚、以下に第16回コンペのダブルペリア方式による成績表を掲載させていただきます。

同好会・愛好会紹介

第16回東京玉翠会ゴルフコンペ成績

平成14年5月26日

氏名	卒年	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	RANK
辻 敬三	51年	46	47	93	16.8	76.2	優勝
小野 長城	25年	52	46	98	20.4	77.6	準優勝
小国 昭	37年	45	53	98	20.4	77.6	3位
垣見 昌美	33年	41	43	84	6	78	4位
松島 孝信	43年	42	40	82	3.6	78.4	5位
沼田 敬純	38年	42	45	87	8.4	78.6	6位
岡崎 洋	37年	51	47	98	19.2	78.8	7位
山地 正記	53年	51	50	101	21.6	79.4	8位
入江 久	42年	49	57	106	26.4	79.6	9位
柴野 孜	33年	46	58	104	22.8	81.2	10位
藤沢 恒代	23年	44	53	97	15.6	81.4	11位
藤本 弘	19年	53	50	103	21.6	81.4	12位
前田 勇	38年	53	50	103	21.6	81.4	13位
小島 豊子	43年	51	52	103	21.6	81.4	14位
藤本 孝雄	23年	49	49	98	15.6	82.4	15位
中山 易典	50年	49	49	98	15.6	82.4	16位
井上 榮	33年	50	55	105	21.6	83.4	17位
丸吉 幸也	23年	44	54	98	14.4	83.6	18位
打越 祐	19年	56	58	114	30	84	19位
長尾 みどり	53年	50	57	107	22.8	84.2	20位
高木 賀光	50年	50	50	100	15.6	84.4	21位
三崎屋義正	34年	47	52	99	14.4	84.6	22位
和田 邦子	50年	53	55	108	22.8	85.2	23位
中村 文俊	20年	57	57	114	28.8	85.2	24位
植松 健	52年	53	49	102	15.6	86.4	25位
細溪 美古	22年	55	60	115	27.6	87.4	26位
小山 宏記	53年	46	58	104	15.6	88.4	27位
光中 優	53年	53	56	109	20.4	88.6	28位

囲碁同好会だより 清少納言VS紫式部

昭和28年卒 小野 眞魚

ヒカルの碁という漫画が、小学生から若い世代にかけて、広く読まれていることはお聞きおよびのことでしょう。平安時代の天才棋士藤原佐為(もちろんフィクション)の魂が、蔵の中で古い碁盤を見つけた小学6年生ヒカルに宿り、ヒカルを囲碁の世界にみちびいていく、という筋書きでストーリーが展開します。このヒカルに憧れて囲碁をはじめた子供たちも多いとか。囲碁人口の増加を望む日本棋院にとり、望んでもないチャンス到来とばかりに、棋院は子供たちへの囲碁普及に大奮です。

ところで、囲碁は4000年の歴史があるといわれます。日本でも早くから打たれていたようで、古くは万葉集や古事記にも碁の字が現れているとか。ヒカルから連想されるように、平安時代には宮廷を中心に公家社会でかなり広く打たれていたようで、枕草子や源氏物語には囲碁のことが書かれているばかりか、その書かれ方から、清少納言も紫式部もかなりの打ち手だったことがうかがえるといわれています。二人が対戦したことがあるのか、どちらが強かったのか、手がかりになるのは両作品での囲碁の記述でしょう。しかし決め手にはなりません。

先日、近所の図書館へ出かけた折、「烏鷲寺異聞」という小説を見つけました。篠原達明さんのものです。(ちなみに烏鷲とは碁石の白黒に由来する囲碁の別称です。)この小説では清少納言と紫式部が五番勝負を戦ったことになっています。というより、戦うに至る経緯、各対局の様子などを描写した非常にユニークな作品です。結果はご想像のとおり、2勝2敗で決戦、半目勝負になりました。どちらが勝ったかはここではいわないことにします。ご興味のある方は小説を読まれるか、それとも今年の9月28日(土)開催予定の東京玉翠会囲碁大会にお出でください。

東京玉翠会の囲碁同好会は平成7年旗揚げし、丸田さん(昭和25年卒)、井上さん(昭和33年卒)、横田さん(昭和35年卒)らの献身的なお世話で、会を重ねております。

同好会・愛好会紹介

今年の第10回大会のご案内

日時：平成14年9月28日(土)

集合 12時

対局 12時30分～18時

懇親会 18時～20時

場所：五合庵

中央区銀座7丁目7-9-20

ライオン銀座7丁目店4階

皆様お誘い合わせの上、
下記幹事までご連絡ください。

連絡先

丸田 晃(昭和25年卒)

井上 榮(昭和33年卒)

横田 義直(昭和35年卒)



第8回大会カップ授与



第8回大会対局風景



第8回大会懇親会風景

どこにいくのか高高神田会

昭和52年卒 神崎 俊

『神田会』、ワープロソフトでは『甲高い』としか変換されない奇妙な会。東京玉翠会に入会したばかりの(もしくは入会してあまり間のない、もしくは今まで余り関心の無かった)玉翠会員の皆様にまずは紹介せねばなりませんね。

<神田会とは>

当会は東京玉翠会総会プログラムの『同好会・愛好会紹介』に常連として掲載紹介され、またこれまでに15回の開催を重ねている由緒正しい会である。(エヘン!!)。

これで当会の東京玉翠会における正統なる位置づけがご理解頂けたと思います。(ハ?)「それでは何の会なんですか?」と聞かれるとちょっと困るんですがお答えしましょう。

取り敢えずこれまでのテーマを羅列すると、「太陽黒点と経済活動(記念すべき第1回のテーマ)」「猥褻論」「イスラム文化について」というような高邁なテーマから、「讃岐うどんの打ちかた、喰いかた」「ワインのテイスティング」「ベルギービールの楽しみかた」などといういわばHOW-TOもの、「魚の話」「占いの話」「コン〇ームの話」などの親しみやすい(?)おはなし果ては神田太田姫神社の秋祭りで「神輿をかついだ」り、新宿で本場の「サンバを踊った」りと種類雑多、支離滅裂、拍手喝采、茫然自失 e t c. というテーマであり、これを何の疑問も自己矛盾もなく普通にこなしているのがこの『神田会』なのです。このような会ですので酒は当然つきものですし讃岐便も話し放題です。

<会の名称>

「会のご主旨はよくわかりました。(ほんまかいな。)しかしながらそれがどうして[神田]会なんですか?」

鋭いご質問です。筆者もそのへんのことにはよくわかりません。(おいおいええかげんやな。)

伝え聞くとところによると、この会の発案者である「S27年卒の9保先輩」・「S37年卒のOK崎先輩」…※筆者注:この文面の個人名は訳あって伏せ字にさせていただきます。…が神田近辺でお勤めされていて、概ね神田界限で開催されていたという史実があるようです。

同好会・愛好会紹介

(そのへんは当会の主幹として活躍されている件のOK崎先輩が神田会ホームページ<<http://www.gyokusui.com/kandakai/kanda-index.html>>に詳しく書いておられますのでご参考ください。)

しかしながら昨今は開催地をいろいろな場所に移しております。ワールドカップも日韓開催になったことだし、繁栄すれば地域は広がるのです。(なんのこっちゃ。)

ということで当会の会員も神田周辺在住在勤者からどんどん広がっております。(かくいうわたくしめも今は大阪在住です。)

<講師>

「これほどまでに広範かつ専門的なテーマの講師は手配がたいへんでしょうね。」
これまたごもっともなご質問です。

そこは伝統を誇る玉翠会のこと、当会の講師はなんと皆自前です。高邁なテーマといえども自前です。太陽黒点云々は例の9保先輩、猥褻論は法曹界の重鎮O西先輩(S33年卒)、イスラム文化は玉翠会のフセインこと髭のNK山先輩(S50年卒)がそれぞれ講師を務められました。(但し、テーマは高邁でも講師が高邁かどうかは別です。)講師は皆様その道のプロ・専門家です。さすが玉翠会。

(次ページへ続く)



第15回会合風景(H14.2.16. 渋谷[高松])



第13回会合風景(H13.5.9. 神田[ふじ川])

<活動報告>

閑話休題。前置きがながくなったので紙面が足りんようになった。自分で自分につっこみをいれるのに疲れてきたところでこの一年の活動報告です。

第13回はS52年卒 I K 崎博士による「味センサー」の紹介。世界初の味覚を数値化するセンサーを開発した偉い先生によるありがたいはずの講演が、当の先生が講演前に吞んでくれて講演どころではなくなったという正に有難い(有り得ない)会となってしまいました。なんともしまらないお話し。

このあたりから神田会は迷走しはじめます。

第14回は「仲秋の明月を愛でながらフルートを聞く会」。これまたS52年卒の白川真理さん(ここはゆえあって実名です。)のフルート独奏(一部銀座でギターの弾き語りをしていた同期の I 弁護士の伴奏があり)を文京区スカイホール26階借り切りにてやりました。演奏と場所は最高でしたが、当日心がけの悪い人が2人ほどいたために雨天となり残念。しかし、S42年卒入 A 先輩が紙を切った満月を持ってきてくれたのでなんとかその場を凌いだのはさすが神田会です。団子とススキも用意してなかなか風流な会となりましたが……。

第15回は「白味噌あんころ餅雑煮を空海。…讃岐雑煮で旧正月を祝う会…」。

高高の出身のくせに白味噌餡餅雑煮を食ったことのない可愛そうな人の為に渋谷警察裏の「讃岐うどん高松(おかみさんはS37年卒の藤村先輩、因みにご主人は高商OB)」で開催。雑煮会も正月(旧正月ではあるが)らしく羽根突き・独楽回し・百人一首などの余興も飛び出し楽しい会となりました。餡餅の手配はタマチューことH3年卒のスプーンちゃん(これも伏せ字の一つです。)がご実家の三木町から80人分手配(なんと餅だけでなく大根・にんじん・里芋も実家の畑から手配)し、あんころ雑煮普及の為家族・友人・知人も加えて盛況に終わりました。しかしこれが神田会なのかな?

<第16回のお知らせ>

第14回、第15回となんだか宴会モードに近づいて来つつある(迷走する)神田会。

今回は「鎌倉東慶寺で月見の会(仮称)」を10月20日(日)夕方開催予定です。雨天に泣いた第14回の屈辱を雪ぐべく満月の演奏会に再度挑戦だい!!

次回のすごいところは、第1に「東慶寺」という会場です。縁切りかけ込み寺として名高いこの寺は北条時宗が妻女による開山にして、珍しい樹木・四季の花々に囲まれ、著名な文化人・経済人の墓碑銘も数多くなかなか見応えのある名刹(S45年卒の井上先輩のご主人がご住職をされています。自前を旨とする神田会の面目躍如!!)です。実は有志で春うらかな頃下見に行きましたが、ちょうど桜が見頃でそれはもうこの世のものとは思えないほどの雰囲気でありました。庫裏の一部屋で精進料理をいただき、本堂で演奏会を楽しむというなんとも贅沢な企画であります。

第2の凄いところは演奏者であります。

先のフルーティスト白川真理さんと共演するのは、世界の藤原ことあのモダンベースの藤原清登氏(S47年卒)なのです。タイトなスケジュールの中、そこは神田会のネットワークでなんとか都合をつけてもらったという信じがたい企画が実現しそうです。

一秋の夜長に山あいから満月が昇り始めるころ、ベースに乗ってフルートの音が流れ出す。— うーん想像しただけで心が震えますねえ。

おまけにこの会の模様を映画監督のTK嶋先輩(S49年卒)がドキュメント撮影予定。こりゃ行かなきゃ損じゃわ。

<最後に>

迷走する神田会もいよいよここまで来てしまいました。神田会よどこに行く!!

ということで皆さん是非とも一度おいでませ。なにっ、つまらない?つまらないかどうかは一度参加してみての話じゃありませんか。万が一つまらなくてもそれがまたいいんですよ。なんせこの世知辛い世の中です。普通に生きてりゃ息がつかまってしまいますから……。

筆者(文責) : S52年卒 K N 崎

連絡先 : S34年卒岡崎、S50年卒中山、S53年卒小山、S52年卒神崎などなど
神田会ホームページ <<http://www.gyokusui.com/kandakai/kanda-index.html>>

東京玉翠会会員の集いの場 「玉翠倶楽部」をご存知ですか？

昭和56年卒 三好 英彦

日頃玉翠会の方々が気軽に集える場所として「玉翠倶楽部」が誕生しました。

東京玉翠会総会も皆様方の母校愛の賜物から今年で20回目を迎え、国内においても類を見ない規模の同窓会へと発展してまいりました。しかし、時代は流れ、規模も大きくなるにつれて、学年を越えた先輩と後輩の交流といったようなものが、ややもすると薄れがちであることも現実です。

東京玉翠会が益々強い絆をもって発展していくことを願い、「先輩も後輩も一緒に」「和気あいあいと」「そこに行けば玉翠に」という3つのコンセプトのもと、「皆が気軽に仕事の帰りに集える店」をご紹介させていただきます。理想は、銀座界隈で十人程がカウンターに座ればいっぱい、こじんまりとした店、うまいおでんをつつきながら一杯呑めて、先輩も後輩も一緒に話に花を咲かせることのできる店、ビールが足りなくなったら自分で冷蔵庫から取り出すような気を使わない店、こんな条件をすべて満たすことのできる店でした。ある意味では一番贅沢なことかもしれません。

今回の「玉翠倶楽部」には都内で玉翠会に縁のある5店舗にご賛同いただきました。焼き鳥の店であったり、カラオケの店であったり、ショットバーであったりと、バラエティに富んだ構成になっております。会員証を提示すれば、なんと飲食代が10% Off!! その上、讃岐弁がバリバリ話せて、バリバリ聞ける!!先輩と後輩の絆も深まる!!是非、「玉翠倶楽部」会員(もちろん会費無料)になりませんか？

現在の加盟ご協力店5店舗をご紹介します。(順不同)

- ① 焼き鳥 鳥仲(中野京子 38年卒) TEL 03-3661-8748
中央区日本橋茅場町3-2-3 (地下鉄茅場町駅から徒歩5分)
- ② BAR DUO (小川榮治 48年卒) TEL 03-3367-4352
新宿区高田馬場(JR高田馬場駅・さかえ通り一番奥左側)
- ③ ショットバー ステラ TEL 03-3572-2058
中央区銀座8-8-17 伊勢萬ビル(博品館うら・金春通り)

同好会・愛好会紹介

④ スナック チロ TEL 03-3353-9847

新宿区(四谷)三栄町16番地(JR四谷駅から徒歩5分)

⑤ Bar 人と木(長尾みどり 53年卒)

TEL 03-5568-5586 (昨年オープン 銀座6丁目電通ビルのすぐそば!)

*お店に行ったら、必ず会員証を先にお見せ下さい。

現在の会員数は65名。こちらにご紹介します。(順不同)

若松昭二(高中19)丸吉幸也(高中23)永野精子(高高27)白井勝子(高高30)渡辺浩(高高31)綾野仁嗣・宮井雄二・武藤満雄・前川勲・浅田裕・大西昭一郎(高高33)鴨田昭代(高高34)山本晴男・本田道明・藤原典雄・斉藤寿良(高高35)岡崎洋・喜岡俊英(高高37)打越暉芳(高高38)末包昭彦(高高40)林小夜子(高高42)鏡原満・北山恭尚(高高43)池上晴英(高高45)田中康博(高高46)土居範行・二川和之・堀本国男(高高47)原貴美子・久本吉亮・川原一芳・大川哲生・多田泰三(高高48)北村篤孝・香西靖仁・武田恭明・柳谷護・岩崎昭宏(高高49)中山易典・池田達彦・三谷勝明・池上みどり(高高50)大喜多俊彦(高高50)長尾みどり・松元文一・松野和彦(高高53)太田理・藤沢昌弘・池内久徳・三好英彦(高高56)佐々木英夫・鞠恭彦・藤井工・町田聡(高高58)原木俊哉(高高60)東幸弥・岡本吉剛・奥本和幸・玉木雄一郎・湯浅康司・池田康之・田川司・西村公佑・杉内信夫・西岡幸治(高高63)

手違いにて掲載されていない方はお知らせください。

提案人：大西昭一郎(高高33年卒)

協賛人：岩崎昭宏(高高49年卒)

三好英彦(高高56年卒)

E-mail: hidehiko.miyoshi@risk-one.com)

*この件に関する問い合わせは、岩崎・三好までお願い致します。

大原美術館の思い出

昭和29年卒 長谷川 汎

昭和二十年、終戦の年に小学校四年生だった私は、広島県の福山市から高松市立二番丁小学校に転校。その後、二十七年の歳月、さぬきうどん愛好家兼推進派の一員となって伝統食文化普及活動に専念?。一日一食、さぬきうどんを頂いて成長。こんな理由で高松は故郷であると自認しております。

さて、四国・高松の生活のなかで大原美術館(倉敷市)の存在を忘れることは出来ません。絵を描くことが全く苦手な私は、孫に描く絵も「へのへのもへの」が手の届くところです。しかし、神様は公平なものでして絵を鑑賞する心を私に与えて下さいました。絵は描けない、されど、絵を見るのは大好きということ、どこか変なのかも知れませんが。大原美術館のお蔭で富本憲吉、芹沢銈介、浜田庄治、バーナード・リーチ、河井寛治郎、棟方志功というトップクラスの作品が鑑賞出来たのは私にとって幸せでした。

ところで昭和四十七年、調布に転居する間、私は一年のうちの五～六回は大原美術館詣でをしたものです。職場のカメラ同好会による撮影会、高松日赤病院の絵画クラブとのスケッチ会、友人、知人と高松－倉敷間を往復した回数と人数は記憶に出来ないくらいのものであったと今では自負?しております。

どうしてそんなに大原美術館に通ったのか、その事由は、美術館とそこをとりまく環境が最高だったからだと思います。いまでは、この近辺が美観地区に指定されています。また、道中の楽しみも格別でした。

宇高連絡船に乗ると指定席はデッキ、潮風を浴びるのが大好きで心地よい磯の香りに大満足、天然栄養剤の潮風を胸一杯に吸い込む深呼吸、その一瞬、無我の境地。「天は空なり、空は天に在り」と考えもつかないことを想像。青春時代の純粹・透明・無の心、いま流の癒しを満喫していたのでしょうか。出航のドラの音の響きは、空気の中に残っているようで言葉にして上手く表現できないのは残念でなりません。栈橋から通勤族に万歳三唱、新婚カップルには「ガンバレヨー」の声援が定番。岸壁からユラリ、ユラリと船が離れると赤、青、黄、白、緑、紫・・・のテープが大空高く高く舞い上り、人々の顔が次第に遠く、小さくなる光景は、人生ドラマのカットとして心に生き残っております。

連絡船の乗船は約一時間、宇野港に到着。これからが大変でした。岡山行き汽車ポッポの座席確保のためヨーイ・ドンで宇野栈橋から宇野線のホームまで走るのです。無我夢中で走る様相は異常かも知れませんが、現実にあった

同好会・愛好会紹介

事です。いま思うと心臓に悪いので再現できない過酷なレースでした。

苦あれば楽あり。座席に坐ること約三十分、茶屋町下車、今度は茶屋町から倉敷行き国鉄バスに乗り換えます。当時は列車とバスの連絡が悪く十五分位はバス停で休憩でした。でも、六月頃に行くといぐさのシーズン、田植の風景もバスの中から眺められて緑の絨毯が目飛び込みます。日本の故郷再発見、無形財産の価値を自分の目で確認できます。

倉敷に到着すると中央通りの街中を歩いて約二十分位で不思議な魅力の町。感動する場所に來ます。

大原美術館の隣(正面右側)には、素敵なコーヒー店、エル・グレコ(昭和三十四年開店、大原総一郎氏が命名)があります。雰囲気は抜群、実は私もこの大ファン。必ず立ち寄ってから美術館に行くのがコースでした。

大原美術館本館二階展示室には、世界の名画がズラリと並んでいます。エル・グレコ「受胎告知」、ルオー「呪われた王」、セザンヌ「水浴」、モネ「睡蓮」、ゴッゲン「かぐわしき大地」、ミレー「グレヴィユの断崖」、クールベ「秋の海」、ホドラー「木を伐る人」等です。

大きなソファに坐り名作品を一つ一つ眺める、見る、見定める、見極める、見破る、気分で考えられることを提案しておきましょう。世界はあなたの為にあることを実感できるかも知れません。

あいつとの約束

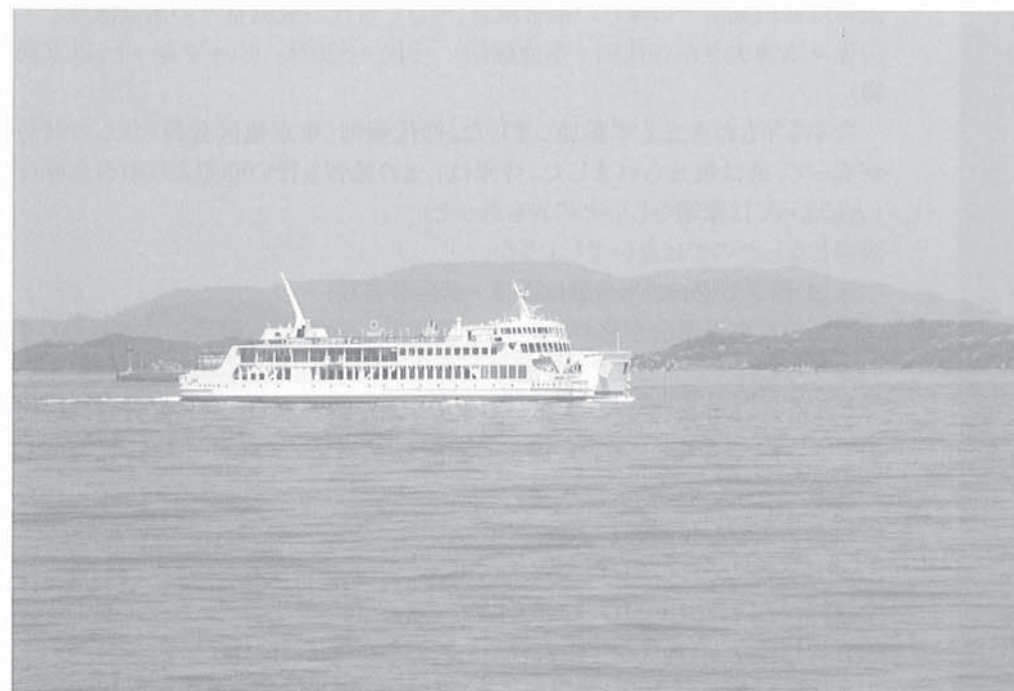
昭和27年卒 西村 武史

その男の名前を村井信彦という。高高応援部の所謂、類稀なる、伝説的人物である。

20年前、私は、仕事で仙台に居していたが、晩春「みちのく」の夕映え染める日、何の前触れも無く、あの「おい!」という言葉で彼が訪ねて来た。久しく会わなかった時空は、その夜の、酔眼朦朧たる世界で、互いに同化した。その時彼が言った「東京玉翠会を、いよいよ立ち上げるぞ!その第一回に栄えある校歌、応援歌、嵐の拍手、をやることとした!早く帰って来い!」少年の声であった。彼の目は、遠い水平線を見るような船長のそれであった。居酒屋を出て二人は、影を追いながら大きな声で校歌を、肩を組みながら唄った。いや、怒鳴ったといった方が正確であろう。しばらく黙した後。彼は、朗々と、何故か、突然「ラ、ノビア」を唄った。虚空に向かって祈るがごとく ——私は、今でも鮮やかに思い出す。まだ、この国に「明日がある」、そんな頃だった。

それから数年、約束通り、私は東京に帰り「玉翠会」の場で、共にその世界を、共感した。しかし、運命は、残酷だ、突然、まさに突然「彼」をこの世から強奪したのである。呆然と立ちすくむということ、言葉を失うとは、「まさか」は、こんな事だ、と実感した。何故なら、4日前、新橋の「寿司屋」で、遠い思い出近くの夢、政治から風俗と深夜まで痛飲した。手をあげて別れた。それが最後となった。

彼が逝ってから15年の季節が流れた。二人で飲んだ時よく軽い約束をしたものだ、「二人のうち残ったほうが、バラの花を瀬戸内の海に投げようぜ!」と——当時「アランドロン」と「ジャンギャバン」が互いに約束したものを、マネしたもので大いに照れて、「気恥ずかしさ」に笑ったものだ。今年もまた、20回記念の玉翠会で校歌、応援歌を熱く唄うだろう、毎年のことだが、茫洋たる風貌、人生の哀愴を吟じた「村井信彦」の染み入るような笑顔を想いながら——そして、果たしてない、彼との約束を反故にしないよう、ちょっぴりの後悔を、込めながら ——「オレも残り時間が少ない」と呟きながら。



ブラスバンド東京OB会の紹介

昭和34年卒 頼則 絢太

昨年始めて紹介させて戴いた我々ブラバンOB会は、「今年は舞台上げてやろう」という幹事団からの暖かい申し出があったが、永年の脇役が身に染みていて果たして好意に報いられるかどうか目下不安の渦中である。それに今年は懐かしの音楽特集とかで、我々の任務は余りに大きい。結成わずか目下名簿リストの整備と親睦会(=飲み会)を重ねているが、東京玉翠会への演奏参加人数も増えてきて成果らしいのが出てきてはいるが、こればかりは水物で、今年はどうなるか?

そこで、この紙面をお借りして、まずは史上最多の参加者だった昨年のことを述べて、改めて関東周辺に眠っている?部員OBの結集を呼びかけ、合わせて皆さんの関心を買うことをお許し願いたい。

以下、昨年玉翠会後の参加者の満足感に満ちたコメント(TBBメールより抜粋)、都内某所での楽しい練習風景、そして当日の威風堂々の演奏風景。

○佐々木典夫さん(5代Fl・本会顧問)(5代=S39卒、Fl=フルート、以下同様)

今年も年もわきまえず参加しました。初代頼則(東京地区会長)さんの執念が実って、或は乗せられました。今年は7/8の練習も行い昨年より相当良好な(人によっては素晴らしいとの声もあった)

演奏となったのではないのでしょうか。・・・

○藤田 晋さん(34代Tb当日は指揮・本会事務局)

・・・東京玉翠会が終わりました。同学年の会合には、演奏の片づけをしているうちにはぐれてしまい、参加できませんでした(涙)。・・・大阪から来てくれた長谷川君(Tu)と京都から来てくれた駒井君(Hr特に好評)には、深謝です。ギャラを出しても良いほどの活躍をしてくれたにもかかわらず、昼食しか支給できなくてごめんね。

○坂東和美さん(19代Fl・総会幹事)

・・・お見それしました。あんなすばらしい演奏になるとは思いませんでした。総会幹事団の中でも大好評でした。

○合地仁美さん(19代Cl・総会幹事)

・・・「威風堂々」の演奏が始まったとき、退場曲であるにもかかわらず、何人もの晩翠会の方々が席を立たずに、しばし演奏に聴き入っておられた姿が印象的でした。

同好会・愛好会紹介

○駒井健二郎さん(42代Hr・京都より参加)

・・・来年に向けて沸々と闘志がわいてきた今日この頃。・・・

○吉馴奈津子さん(42代Tb・当日はカメラマンで奮闘)

○長谷川貴紀さん(42代Tu・大阪より参加)

○その他大勢(省略・乞謝々)



練習風景(都内元赤坂某所)



総会での演奏風景

演奏者メンバー(数字は吹奏楽部における代数/敬称略)

Fl: 佐々木典夫(05)・助川悦子(08)・和田義郎(16)、

Cl: 上田昌伸(23)・土居玲奈(37)・法兼義浩(38)、

Sax: 國末貞仁(39)、

Hr: 駒井健二郎(42)、

Tp: 松原 徹(26)・井下貴仁(41)、

Tb: 平井丈太郎(25)・永井英幹(27)・長尾充浩(28)・松原 寛(30)・岩崎 聡(39)、

Tu: 山川寛詞(41)・長谷川貴紀(42)、

Perc: 谷 政俊(18)・井上俊彦(31)、

Cond: 藤田 晋(34)、

Camera: 吉馴奈津子(42)

参考: 高高ブラスバンド部(TBB) OB会ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife/4562/>



関西玉翠会より Congratulations

関西玉翠会代表幹事 岡田 健二(昭和46年卒)

東京玉翠会第20回総会の開催を心よりお喜び申し上げます。20年目の玉翠祭での“来まい、食べまい、話しまい”は、高松を離れると、文化ではありながら、何故か日々の生活の中では使用する機会が少なく、それ故に、最大の懐かしさと郷愁感がほのほのと蘇ってくる思いです。

さて、関西玉翠会はと言いますと、昨年10月30日にホテルニューオータニ大阪にて第8回関西玉翠会総会を330名を越える会員の方々のご出席を頂き、盛大に開催いたしました。今年は昭和46年の卒業生が幹事役となり、第9回関西玉翠会総会の開催への準備を、関西のみならず全国で御活躍されている会員の皆様のご協力とご指導を仰ぎながら進めております。今年の総会のテーマは

「あの頃の思い出をより多くの仲間と語り合おう！」

とし、来たる10月19日(土)南海サウスタワーホテル大阪で午後2時より開催する予定です。21世紀の幕開けは、大きな期待とは裏腹に、我々を取り巻く社会情勢、環境は非常に厳しく、将来への不安が日増しに増大する時代になってしまいました。しかし、こういう時代にこそ、今を生きる我々は、お互い思いやりを持ち、温もりのある人間関係を構築、維持していくことが必要と考えます。2002年もまた、関西玉翠会に集まり、年次を越えて、古き良き時代をより多くの仲間と語り合うことで、少しでも明日からの生活に希望、安らぎ、癒し、そして意欲が生まれ得る機会となればと思っています。

関西玉翠会もまた会員の年齢層の幅が広く、幹事役が卒業後32年目であることもあってか、特に若い世代の会員の不参加が目立っております。時代の流れとともに校舎等

各地の玉翠会だより

物質的な母校は変わっていきますが、受け継がれてきた精神、伝統そして歴史は継承されるべきものと考えます。そこで、若い世代の会員にも参加していただけるように創意・工夫し、未来へ続く大いなる玉翠会の流れの一通過点として関西玉翠会を盛り上げていきたいと思っております。

また、晩翠会も活発に活動しており、平成14年4月2日に阪神百貨店11階グリーンルームにて、晩翠部会総会が実に和やかな雰囲気の中で開催されました。

最後になりましたが、東京玉翠会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。





過去最高の出席者で賑わう

岡山玉翠会事務局長 入船 健一(昭和28年卒)

今年も東京玉翠会総会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、平素は岡山玉翠会の運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

岡山玉翠会第23回総会は、平成13年10月21日にアークホテル岡山に於いて盛大に開催されました。今回は来賓として昨年同様に真鍋 武記香川県知事、塚本 修県議会副議長と新しく岡山香川県人会会長に就任された山下 一盛弁護士がご出席下さり、創立以来最高の出席者で盛況を極めました。

辻 孝夫会長は開会挨拶で、このところ年々参加者が増加して内容も充実した総会になったことに対して御礼と謝辞を述べられました。

真鍋知事からは、「サンポート高松」のシンボルタワーの建設、高松自動車道全線開通、生きがづくり支援拠点の殿堂建設など郷土の現況と今後の展望が話されました。また、秋山 忠校長先生からは、母校の近況報告につづいて学校創立110周年を控えて記念事業などを実施する準備会結成の発表がありました。すっかり元気になられた多田野 久会長からは母校および玉翠会発展のために会員に対して引き続き協力の要請がありました。

最近では完全に通勤、通学圏内になった香川県ですが年1回の玉翠会でお互いに母校の活躍と発展を喜びあい、讃岐弁を気にしないで青春を思い存分に懐古できる集いとして定着してきました。

県人会組織の少ない岡山県では岡山香川県人会は貴重な存在です。その会長に玉翠会から山下 一盛さんが就任され、各方面から注目され、また大いに期待もされています。今後は県人会の主要メンバーとして会の運営に積極的に協力してゆきたいと考えております。

各地の玉翠会だより

第24回岡山玉翠会総会は10月27日にアークホテル岡山で開催することが決定しております。一人でも多くのご参加をお待ちしております。詳細については事務局へお問い合わせ下さい。

最後になりましたが東京玉翠会のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。





東京玉翠会へのラブコール

徳島玉翠会会長 渡邊 謙(昭和33年卒)

東京玉翠会には格別の想いがあります。その第一の理由は、私が昭和33年に高松高校を卒業してすぐに上京し、その後13年間も東京に居たからです。現在も年に数回上京するのですが、東京がどんなに変わってもホッとするものを覚えるのは、私にとって東京は青春そのものだったからです。第二の理由は、私の家族(母と兄と妹)全員がずっと東京暮らしを続けているからです。兄(渡辺浩)と妹(中野京子)は東京玉翠会総会の常連で、私も特別参加することをよく勧めてくれていましたし、様子を聞いていますので、なんとなく私も顔を出したことがあるような錯覚に陥っているほどです。

冒頭から個人的なことを書いてしまいました。それでは徳島の現況について説明させていただきます。

徳島玉翠会の会員数は500人になんなんとしています。香川と隣県である上に、昔から両県は縁が深いため、意外と卒業生が徳島県内に多く住んでいます。でも残念なことに玉翠会への出席率は1割に満たず、けっして高いとは言えません。昨年の総会・パーティーへは、12月8日というあわただしい時期であったにもかかわらず、私の同級生たちが香川・岡山・関西から大挙して駆けつけてくれたために、期せずして雰囲気盛り上がりました。友達とはありがたいものだとつくづく感じました。

さて、徳島玉翠会の課題といえば、なんと言っても「人集め」です。全会員の過半数とは言わないまでも、せめて3割、いや2割でも参加してくれれば賑わうこと請け合いなのですが……特に若い会員層をひきつける魅力あるイベントを採用することが課題です。昨年は人集め策として会場を見晴らしのよいゴルフ場兼リゾートホテルに替え、ゴルフコンペまで企画したのですが、結果は参加希望がわずか4

各地の玉翠会だより

人で、コンペが成立しませんでした。今年は時代の要請を反映させて「パソコン教室」で人を釣るのはどうだろうなどと作戦を練ってはいますが、さて起死回生の策となるでしょうか。

最後に、東京玉翠会の皆様に熱い熱いラブコールを送ります。予定が許せば今回こそ直々に会場に臨んで皆様とお話したいと思います。今年もご盛会となることをお祈りしています。



訃報

(東京玉翠会前会長 宮井仁之助氏)

東京玉翠会前会長宮井仁之助氏におかれましては、2002年5月15日午後2時59分、急性腎不全のためご逝去されました。享年80歳6ヶ月でした。

故宮井仁之助氏は、東京玉翠会発足当時(1983年)より副会長の任に当たられ、1993年からは2期4年間会長を務められました。ここに故人の東京玉翠会に対するご献身に感謝の意を表すとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

故宮井仁之助氏略歴

1921年10月22日	香川県坂出に出生 高松中学を卒業
1941年	旧制第6高等学校卒業 同校では剣道部に属し、天覧試合にも出場
1944年秋	東京大学法学部卒業
1946年	復員後、東京裁判弁護団に勤務 東郷茂徳外務大臣の弁護団に参加
1948年	シェル石油株式会社入社
1952-53年	フルブライト奨学金留学生として シカゴ大学大学院(社会科学部)に留学
1971年以来	シェル石油・シェル興産各副社長、新西日本 石油開発・ライジングサンの社長を兼務
1981年	シェルグループを退社 昭和四日市石油副社長・社長歴任
1985年	財団法人 社会経済生産性本部 理事長就任 1997年 特別顧問 2001年 顧問就任 ほかに学校法人本郷学園・清泉女学院・東京女子大学・明治学院大学・フェリス女学院大学、社会福祉法人日本医療伝道会(衣笠病院)等で 特別顧問、理事、評議員、監事等を歴任
2002年5月15日	午後2時59分急性腎不全のため逝去 (享年80歳6ヶ月)

編集後記

今回、このプログラムを編集するにあたり、第20回記念にふさわしいプログラムを作ること、すなわち、東京玉翠会の歴史を振り返ることができ、読み応えがあって、後で読み返したとき、資料としても価値のあるものを残すことを目標としました。

この編集方針のため、結果的に、多くの先輩方に話を聞かせていただくチャンスに恵まれました。諸先輩方が、苦勞されながらも、いかにこの同窓会を愛し、いかにその発展のために腐心されているかを、うかがい知ることができました。社会の発達したこの時代、もはや、ふるさとを遠く離れた者同士が都会で肩寄せあうという風情はなじまないでしょう。それでも、やはり、同郷のよしみ、気のおけない同窓生、先輩・後輩とのつきあいが、生きる楽しみや豊かさ、幅を与えてくれるものだということを、我々もこの幹事の活動を通じて強く感じている次第です。

また、最近の東京玉翠会の集まりでは、我々が若手だった時代に比べ、ずいぶんと若い世代の参加が増え、定着もしてきているように感じます。物おじしない彼らの新しいエネルギーが、今後の東京玉翠会を大いに盛り上げてくれることでしょう。

さて、冒頭で述べたプログラム編集目標の件、いかがだったでしょうか？今回は、ページレイアウトや版下制作まで我々の手で行う、完全原稿化編集を敢行いたしました。何分、皆、日常の仕事を抱えながらの作業で、必ずしも十分に時間を割くこともできず(と言いつつ、ついつい新たに見出した生きる楽しみ・豊かさの方に時間を割いてしまい)終盤は、時間に追われて、もうこれくらいで勘弁してねと思う場面もありましたが、何とか、すべての原稿が揃うところまでこぎつけました。お忙しい中、座談会への出席やエッセイ・活動報告の原稿執筆等にご協力いただいた皆さま、また、貴重なご助言や資料提供、ご支援をいただいた皆さま、さらに、(楽しみつつも)真剣に総会・プログラムのテーマや企画の検討に参加し、作業をしてくれた幹事団の仲間たち、すべての方々に深く感謝致します。東京玉翠会が今後ますます発展し、ベテランから若い世代に至るまで幅広い交流の場を提供し続けることを心から願ってやみません。本誌がそのほんの一助になれば幸いです。

編集子

高松中學校校歌

(大正4年9月制定)

作詩 藤井静夫
作曲 安田俊高

Moderato

1. あ さ ひ か が や く や し ま や ま さ ざ な み
よ す る た ま も う ら へ い わ み な ぎ る そ の ひ び
き せ い き あ ふ る る そ の ひ か り わ が ま な
び や に い み ち み ち て い そ し む け ん じ
い っ せ ん よ せ ひ る が へ せ

(電腦浄書/音源 26: 河江一仁)

- 一、朝日輝く屋島山
小波寄する玉藻浦
平和漲る其の響
生氣溢るゝ其の光
我が學舎に充ち満ちて
勤しむ健兒一千餘
- 二、御稜威と共にいや高く
朝夕仰ぐ碑は
日嗣の皇子の行啓の
千代に朽ちせぬ記念なる
奮闘努力の健男兒
ゆめな忘れそそのかみを
- 三、巖冬霜雪色變へぬ
紫雲の松を名に負へる
我が中學の健兒等よ
堅忍不撓功遂げて
屋島山頭いや高く
名譽の旗を翻せ……翻せ

高松高等女學校校歌

(大正3年9月14日制定)

作詩 小原虎一
作曲 内藤 蝶

Andante
mp

1. み れ ど も あ か いぬ た ま も の う ら い ち
ひ ろ の そ こ い し づ く な る い そ
の し ら た ま の う る い は し き い き
よ い き こ こ ろ を み が か む み が か む を
と い め わ れ ー 2. あ と い め わ れ ー

(電腦浄書/音源 26: 河江一仁)

- 一、見れども飽かぬ玉藻の浦
千尋の底にしづくなる
その白珠の麗はしき
清き心を磨かむ
磨かむ…、をとめわれ
- 二、朝夕仰ぐ屋島の山
峰の上はるかに並び立つ
その山松の色變へぬ
高き操を守らむ
守らむ…、をとめわれ
- 三、開くる御代の幸多き
身にはつとめもさはなれば
つら若き日をたゆみなく
をみなの業を習はむ
習はむ…、をとめわれ
- 四、いや榮ゆく皇國の
生ける効ある御民ぞと
仁慈あまねき大君の
みこと畏み盡さむ
盡さむ…、をとめわれ

高松高等学校校歌

(昭和26年12月17日制定)

作詩 河西新太郎
作曲 芥川也寸志

con brio (♩=108)
mf

1. せい きーあ らた なひ には えて あ さぐ もに おう
や し ま やま おゝ ま ゆ き よ き わ こう ーど が
こう が く の ねん ゆ る き な く は つ ら つ こ そ
る い き を み よ よ

(電腦浄書/音源 26: 河江一仁)

- 一、世紀新たな陽に映えて
朝雲匂う屋島山
おゝ眉清き若人が
向学の念揺きなく
凛冽挙る意気を見よ
- 二、平和輝く波よせて
鏡と澄める玉藻浦
おゝ純潔の若人が
真理の道を究めゆく
独立自主の熱意見よ
- 三、仰ぐ紫雲の松風に
雪持笹のさみどり
おゝ希望わく若人が
自由と愛の血に燃ゆる
わが高松高校の自治を見よ

高松高等学校校友会の歌

(…朝日輝く…)

作詩 藤井静夫
作曲 不詳

Moderato

1. あ さ ひ か が や く や し ま や ま さ
さ な み よ ー す る た ま も う ら へ い わ み な
ぎ る そ の ー ひ び き せ い き あ ふ ー る る そ
の ひ か り わ が ま な び や に み ち み ち て い ー
そ し む け ん じ い っ せ ん よ せ

(電腦浄書/音源 26: 河江一仁)

- 一、朝日輝く屋島山
さざ波寄する玉藻浦
平和みなぎるその響き
精気あふるるその光
我が学舎に満ち満ちて
いそむ健児一千余
- 二、厳冬霜雪色変えぬ
紫雲の松を名に負える
我が高松の健児らよ
堅忍不撓功遂げて
屋島山頭いや高く
名誉の旗をひるがえせ



高高 高高

1. 高高 高高 高高 栄えあるその名
高高 高高 高高 我等が母校
2. 高中 高中 高中 栄えあるその名
高中 高中 高中 我等が母校
3. 高女 高女 高女 栄えあるその名
高女 高女 高女 我等が母校
4. 高高 高高 高高 栄えあるその名
高高 高高 高高 我等が母校

ふるさと

- 一、うさぎ 追いし かの山 小ぶな つりし かの川
夢は今も めぐりて 忘れがたき ふるさと
- 二、いかに います 父母 つつがなしや 友がき
雨に風につけても 思いいずる ふるさと
- 三、こころざしを はたして いつの日にか 帰らん
山は青き ふるさと 水は清き ふるさと



東京玉翠会会則

第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上五校を母校という）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下通常会員という）ならびに母校の旧職員（以下特別会員という）で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。
2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

第三章 役員

(役員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1名
- (5) 幹事 その員数は次条第2項の定めによる
- (6) 監事 3名

(役員を選出)

- 第 10 条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。
2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各1～2名を選出する。
3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。
4 常任幹事のうち1名を事務局長、1名を会計担当として会長が指名する。

(任期)

第 11 条 役員任期は2年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

- 第 12 条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。
3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。
4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
5 監事は本会の会計を監査する。

第四章 会議

(総会)

- 第 13 条 1 総会は会長の招集により毎年1回開催する。
なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。
2 総会においては、次の行事を行う。
(1) 会務及び会計報告
(2) 会員の親睦を図る行事
(3) 本会の運営に必要な事項の決定

(幹事会・常任幹事会)

第 14 条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

(議長)

第 15 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

(議決)

第 16 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

第五章 会計

(会計)

第 17 条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

(会計年度)

第 18 条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終る。

第六章 その他

(顧問)

- 第 19 条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。
2 顧問は会議に出席し意見を述べることができる。

附 則

第 1 条 本会則は昭和58年6月25日より施行する。

寄贈図書目録

皆様にご協力いただきました母校図書購入資金で下記の図書が、特別コーナーを設けて揃えられております。今年もなにとぞご協力をお願いいたします。

年度	出版社	書名	巻数
平成2	未来社	宮本常一集	43
2	平凡社	東洋文庫「日本の古典」	10
2	平凡社	東洋文庫「日本の風俗と社会」	13
3	平凡社	東洋文庫「アラビアン・ナイト」	17
3	平凡社	東洋文庫「智恵の七柱」	3
3	平凡社	世界の民族	20
4	平凡社	南方態楠全集	12
4	角川書店	鑑賞日本古典文学	36
5	科学新興社	モノグラフ数学	26
5	講談社	世界の大遺跡	13
5	河出書房新社	新文芸読本	13
6	新潮社	カフカ全集	12
6	清水書院	人と思想	121
6	Oxford	Oxford Children's Encyclopedia	7
7	岩波書店	幸田文全集	15
7	岩波書店	1000万人のコンピュータ科学	3
7	集英社	中上健次全集	9
8	集英社	中上健次全集	6
8	岩波書店	幸田文全集	13
8	岩波書店	丸山眞男全集	8
9	文泉堂	壺井栄全集	10
9	日本図書センター	作家の随想	10
10	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	5
11	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	4
11	岩波書店	志賀直哉全集	14
12	岩波書店	志賀直哉全集	7
12	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	4
13	岩波書店	鷗外歴史文学集	13
13	朝倉書店	図説 世界文化地理大百科	3

皆様のご芳志に対して、心から厚くお礼を申し上げます。ご芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、在校生・職員等の閲覧に供しておりますことをご報告いたします。

平成14年5月 高松高校図書館

祝

第20回東京玉翠会総会

第20回東京玉翠会にご協力ありがとうございました。

物品等をご寄贈頂いた方々
(順不同・敬称略)

株式会社 志満秀

株式会社 宗家くつわ堂

綾菊酒造 株式会社

日本ハム 株式会社

株式会社 うどんの庄かな泉

日産自動車 株式会社

一和堂工芸 株式会社

東京プリンスホテル

株式会社 東海屋

株式会社 ファブリカ



コンサルティング
から、はじめます。

〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-3 大崎ニューシティ3号館13階

ソニー生命保険株式会社
品川ライフプランナーセンター第3PG支社

MDRT2002会員 (Court of the table)

副部長・シニアライフプランナー 三好 英彦 (昭和56年卒)

TEL 03-3491-6971 FAX 03-3491-6960

※リスクマネジメントのご相談は上記まで……。

コンサルティングから、はじめます。

ソニー生命

ライフプランナー、代理店にご相談ください
お客様フリーダイヤル ☎0120-158821
インターネットホームページ
<http://www.sonylife.co.jp/>

SonyLife ソニー生命保険株式会社

本社：107-8585 東京都渋谷区南青山1-1-1 新青山ビル東館



あなたを知って、あなたとつくる。
オーダーメイドの生命保険。
この先きついろいろなることが、あなたの人生に訪れます。10年先、20年先のシーンを、思い描くことができますか。あなたの個性がこの世にたった一つであるように、人生も、ひとりひとり違います。必要な資金も、それぞれまったく違うはず。住宅、教育、結婚、老後の生活、将来の夢……「なんとかなる」を「きちんとこうしよう」にするのがリスクマネジメント。ソニー生命のライフプランナーは、リスクマネジメントのプロフェッショナルです。たとえは顧問弁護士のように。たとえはかかりつけの医師のように。コンサルティングとして、あなたを永くサポートします。そのために、私たちはまず、あなたとじっくり、じっくりお話しすることから始めます。

讃岐うどんと サプリメント。

予防から未病の時代へ

さまざまな、現代病のケアをします

特定保健ヘルスアドバイザー (相談無料)

肉体的、経済的、精神的な健康を手に入れて、生き生きとした日常生活を!

有限会社 ハイブリッド

Tel/Fax: 03・3299・8955

本社 〒769-2104 さぬき市鴨部1326-2

東京オフィス 〒151-0071 東京都渋谷区本町4-42-9 スクウェアフリー-305号

健康コーディネーター

安里 (大村) 美香 (平成2年卒業)

<http://hybrid.jp.epharmanex.com>

E-mail: hybrid@jp.bigplanet.com

★お手軽しっとりコース★

(時間のない方に:30分)

¥3,000 → ¥2,700

★スタンダードコース★

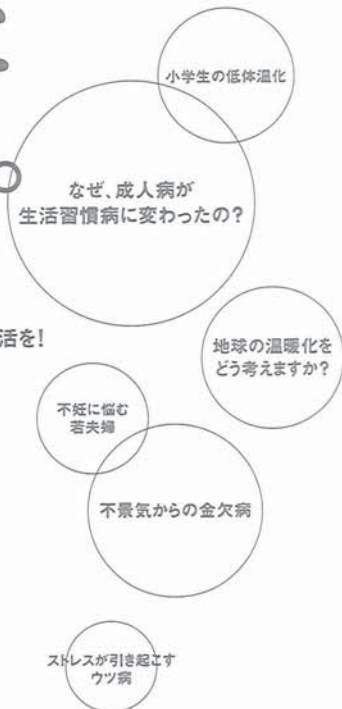
(ざらつき・しみが気になる方に:60分)

¥4,000 → ¥3,600

★スペシャルコース★

(究極の美白パック。しわが気になる方に:90分)

¥5,000 → ¥4,500



ジェニックス



Tel/Fax: 03・3299・8955

〒151-0071 東京都渋谷区本町4-42-9 スクウェアフリー-305号

日景 (岩田) 英以子 (平成2年卒業)

<http://genics.jp.nubeauty.com>

E-mail: eikohikage@jp.bigplanet.com

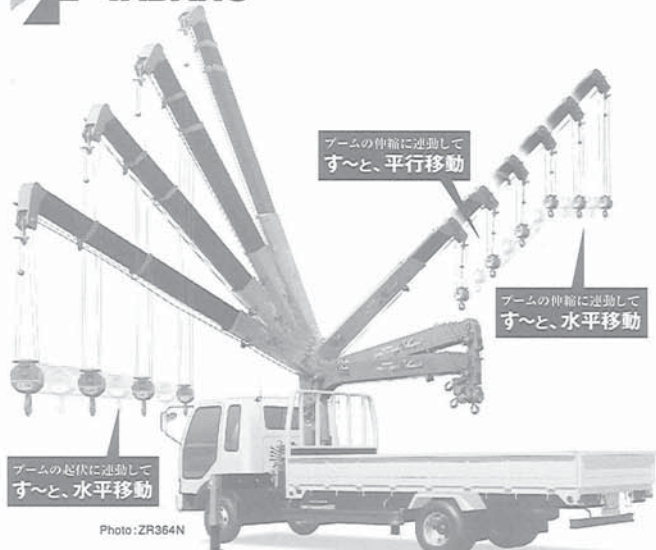
東京玉翠会の皆さまだけの特別価格!

Open: 10:00 ~ 21:00
Close: 木曜日

讃岐美人の
フェイシャルエステ。

TADANO

CARGO CRANE
カーゴクレーン「ナビ」シリーズ



熟練技をみんなのものに。
タダノ・カーゴクレーン「ナビ」シリーズ。
吊り荷の高さを一定にしたままの「水平移動」や、吊り荷とブームの間隔を一定にしたままの「平行移動」。熟練したオペレーション技術が必要とされるこうした操作も、タダノの「ナビ」ならあっと驚くほどの簡単さです。というのも、ラジコンから指令を出すだけで、ブームの動きに連動して吊り荷の「水平」「平行」移動が自動的に行われる。高度な機能が組み込まれているから。おかげで、トラック荷台上での位置決め作業や屋上への吊り上げ作業も的確でスピーディ。「ナビ」を使えば、だれでもたちまち作業名人です。
*ラジコンは標準装備です。

ラジコン操作で、スムーズドライブ!!



タダノは『ナビ技』!!

株式会社 タダノ 本社/香川県高松市新田町甲34番地 TEL.(087)839-5555(代表)
東京事務所/東京都墨田区亀沢2丁目4番12号タダノ両国ビル TEL.(03)3621-7777(代表)

タダノホームページアドレス
<http://www.tadano.co.jp>

マンションはサブス
SURPASS
ANABUKI

アフターサービス工務店。

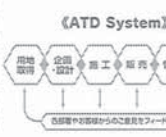
鍵をお渡してから、本当のお付き合いが始まる。これが穴吹工務店の「アフターサービス」に對する基本姿勢です。お客様にお渡ししたマンションに、常に責任を持ち、お困りのことがあった際には、迅速に対応。その結果、「マンションを「サーパス」で、思い返ける」で「私たちが大切にしたい」を、何よりの財産だと考えます。アフターサービス工務店。穴吹工務店は、こう呼ばれ続けることを目指しています。



ATD SYSTEM [アナプキ・トータル・デベロップメント システム]

サーバスマンションの最大の特長。それが、自社一貫体制のATD(アナプキ・トータル・デベロップメント)システム。

穴吹工務店は、いつも暮らす方の気持ちになって快通をお手伝いします。サーバスマンションにおいては、まず用地からしっかり地味。周辺の生活環境は充実しているか、公共施設は整っているかなどを詳しくチェックします。そして企画・設計・施工・販売から、ご入居後の管理・アフターサービスまで、皆さまの暮らしをトータルにサポートします。この、すべて自社において一貫して行なうシステムこそがATDシステム。当社の豊富な実績と経験から生まれたシステムです。



決断なくならぬ

穴吹工務店

<元主・設計・施工> 建設業許可 建設大臣(特-9)第1478号 宅地建物取引業免許国土交通大臣(10)第1545号(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟(社)不動産協会(社)日本ソートアップ協会
本社 〒770-8500 香川県高松市東通町1-1-22 TEL: (087) 835-7111(代)
東京本社 〒104-8478 東京都中央区八重洲2-6-21 八重洲エビル TEL: (03) 3517-2800(代)
支店 札幌・関東・関西・中国・四国・九州
支店 仙台・宇都宮・水戸・前橋・東京・新潟・長野・群馬・富山・金沢・京都・大阪・岡山・広島・徳島・松山・高松・丸亀・松山・徳島・高松・福岡・大分・熊本・長崎・宮崎・鹿児島
営業所 福岡・秋田・山形・福島・山梨・茨城・群馬・栃木・長野・新潟・富山・石川・福井・大津・和歌山・徳島・香取・小笠原・鳥取・島根・岡山・広島・徳島・高松
ミヤホーム事業部 支店: 高松・丸亀・新居浜・松山 / 営業所: 観音寺・伊予三島・今治・大洲
建設事業部 支店: 高松・松山 / 営業所: 岡山・福山・丸亀・観音寺・新居浜・徳島・高松

穴吹工務店のインターネットホームページアドレス ▶ <http://www.anabuki.co.jp> サーマンションの物件をダイレクトでご覧いただけます ▶ <http://www.384.co.jp> 住宅でもお住まい ▶ <http://www.384.co.jp/i>

TTNet



故郷高松にいるあの人も、時間を気にせず長電話をどうぞ。

その安さが先進的。
東京電話
by TTNet

TTNetは、東京電力グループの通信会社です。

市内3分8.4円をはじめ、市外・県外・国際と、もれなくおとく。東京通信ネットワーク株式会社

お申し込み 東京通信ネットワーク株式会社(TTNet)お客様センター(受付時間9:00~21:00年中無休) <http://ttnet.tokyo-denwa.net>
お問い合わせは、高音なしの **0081-151(無料)** または ☎0120-719-019

トヨタ車のレンタカー・カーリースを通じて、お客様にハイクオリティ・ローコストのサービスを提供するそれがトヨタレンタリース東京の仕事です。



年間、当社レンタカーをご利用いただいている40万人のお客様と、保有台数6万台のカーリースが「信頼と安心」の証と考えています。

よいクルマ・ゆきとどいたサービスの
(株)トヨタレンタリース東京
本社 〒102-8320 東京都千代田区九段南2-3-18 TEL:03-3263-6321
トヨタレンタカー予約センター TEL:0070-8000-10000
<http://www.toyota-ri-tyo.co.jp>

代表取締役社長 **梶野 茂**
(昭和34年卒)

各地発送承ります。

天
比
羅

煌めきの...

日々是好日



四国・屋島

屋島アーチェリー通り

東海屋

香川県高松市屋島東町1121-1

TEL (087) 844-1112 (代)

FAX (087) 844-0188 番

お問合せは

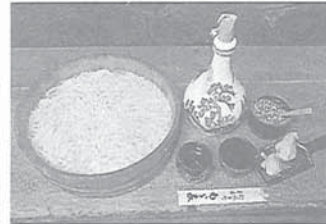


0120-801112

国指定重要文化財8棟・香川県高松市指定文化財9棟
屋島山麓の四国民家博物館
SHIKOKU MINKA MUSEUM
高松市屋島中町91 087-843-3111

四国村

〈お食事処・休憩所〉



●「わら家」

名物「たらいうどん」
が自慢の手打ちうど
んの店。

☎087-843-3115



●異人館

明治建築のモダンな
欧風2階建の喫茶・民
芸品店。

☎087-843-3114

素晴らしい自然と人々の暮らしの歴史に出会える里。



太平洋セメント株式会社

〒101-8357 東京都千代田区西神田3-8-1 <http://www.taiheiyo-cement.co.jp>

心のふれあい 技術のかけはし

極東産業株式会社

取締役会長 中村文俊 (高中50回卒)

- 装置・機械 (汙過機・攪拌機・熱交換器)
- 設備機器 (タンク・パイプ・伸縮継手等)
- 防蝕ライニング ■エンジニアリング・工事

本社 東京都港区新橋5-10-5
☎03-3433-4761
青山分室・中部支店・鹿島支店

藤井法律事務所

弁護士 藤井 富弘

(高高26年卒)

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-12 新橋1丁目ビル3階

TEL (03)3593-7605

FAX (03)3593-7607

Read Me. 

いまを読む。明日を知る。
四国新聞

http://www.shikoku-np.co.jp

四国新聞社 〒760-8572 高松市中野町15番1号 tel (087) 833-1111

白紙新聞購読のお申し込みはフリーダイヤル(通話無料) ☎0120-084-459

ます! ます!
RNC西日本放送
<http://www.rnc.co.jp>

高松本社 〒760-8575 高松市丸の内8番15号 ☎ (087) 826-7333
岡山本社 〒700-0971 岡山市野田3丁目2番5号 ☎ (086) 244-0111

下水道設計・土木設計・測量調査
日新技術株式会社

代表取締役 恵比須 忠 (S42年卒)

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-6 第3和幸ビル
TEL 03-3371-5991 FAX 03-3371-5994
札幌事務所・仙台事務所・広島事務所・福岡事務所

 **株式会社 コンピュータ・サポート**
コンピュータシステムの受託開発
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目8-13 高谷ビル2階
Tel 03-5524-2205 Fax 03-5524-2206
<http://www.compsupt.co.jp>
代表取締役 川久保建男(高高53年卒)
kawakubo@compsupt.co.jp

祝
第20回 東京玉翠会総会開催
東京晩翠部会

足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所
弁護士 宮武 敏夫 (高高31年卒)
〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-8 井上赤坂ビル5F
TEL 03-5562-0910 FAX 03-5562-0916

中広デンタルクリニック

東京都千代田区有楽町1-6-6 常盤ビル4F
☎03-3591-5822
院長 中広 哲也 (高高46年卒)



 **香川トヨペット**

〒761-8014 香川県高松市香西南町577-2 TEL. 087-882-5555
代表取締役 灘波 博司(昭和53年卒)
監査役 灘波 文子(昭和26年卒)

総合マテリアル・鉄構建設
環境セラミック開発・インターネット事業

代表取締役社長 宮本 吉朗(昭和48年卒)
〒760-0060 香川県高松市末広町7-21
TEL. 087-851-1551 FAX. 087-821-1427
E-mail miyamotoy@amron.co.jp
URL <http://www.amnet.co.jp/miyamoto>

 **株式会社アムロン**

「日本一美味しい」さぬきうどんを全国に

JR四国グループ

株式会社



りけんや

代表取締役社長 諏訪 輝生 (昭和41年卒業)

本社
〒769-0203
香川県綾歌郡宇多津町浜三番丁36-2
TEL 0877-49-6111 FAX 0877-49-6110

ホームページ E-Mail
<http://www.merikenya.com/> merikenmb@pop01.odn.ne.jp

事業内容
・さぬきうどんの製造販売
・飲食店の経営
・FC事業「さぬきうどん職人」

婦人科・産科・内科

東クリニック 東 弘子 (40年卒)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-30-3
ビラージュ笹塚Ⅲ4F(京王線笹塚駅徒歩1分)
TEL 03-3481-0380

石川税務会計事務所

税理士 石川 肇久
CFP

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-2
麹町駅プラザ*803(有楽町線麹町駅5番出口)
TEL03(5211)1541 FAX03(5211)0777
E-mail:ista@nifty.com
URL:<http://home9.highway.ne.jp/d-tax/>



Sanyo Original

ビクルス、テーブルオリーブ他、地中海食材

おいしい情報発信中!
<http://www.so-food.com>

児玉 光三 (昭31年卒)
児玉 英二郎 (昭34年卒)

本社 〒760-0068 高松市松島町1-13-14
TEL. 087(833)7011
営業本部 〒102-0076 東京都千代田区五番町4-16
TEL. 03(3288)1181
大阪定業支店 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-6-16
TEL. 06(6300)1320

おいしいは、いつもオリジナル。
讃陽食品工業株式会社

(株)フジカナエ

代表取締役

藤本 烈

(高高30年卒)

東京事務所

〒107-0052 東京都港区赤坂9-2-11-204
TEL 03(5410)0222 FAX 03(5410)0224



会長 谷本 伊久夫(高中 昭和22年卒)
社長 谷本 一成 (高高 昭和49年卒)

事務所 高松市藤塚町1丁目16-28 〒760-0071
電話 (087) 861-2466(代)
FAX (087) 834-7140
工場 電話 (087) 835-2661

心から心へ。笑顔から笑顔へ。
確かな技術とノウハウで、
人と街を心豊かに彩ります。



タクシー乗降場テント(丸亀駅前場)



代表取締役 石原 英輝
本社/〒761-8014 高松市香西南町358-1
TEL(087)882-2231 FAX(087)882-8822
営業所/高松営業所、丸亀営業所
石原英輝(昭和34年卒)・「讃志会」(昭和34年卒)事務局
石原久子(昭和38年卒)・石原裕三(昭和62年卒)・(石原加奈子(平成2年卒))



環境とからだにやさしいレストラン

～各フロアのご案内～

8F イタリア料理	ST.HUBERTUS
7F パーティスペース	LE BRILLANT
6F お座敷宴会場	瀬戸 (せと)
5F 和風個室	紫雲 (しうん)
4F 日本料理テーブル席	香川 (かがわ)
3F 洋風個室	LE BONHEUR
2F 中国料理	王家 (おうか)
1F カフェテラス	カフェ・ラ・セレニテ
B1 フランス料理	EMU
B2 ヒストロ&ワイン	LA GRATI TUDE

各種ご宴会・ご商談・ご会食 承ります。
中央区銀座6-3-9
TEL 03-5568-3300 (代)

大西昭一郎法律事務所

弁護士

大西昭一郎

(高高33年卒)

千代田区丸の内3-1-1国際ビル829区
TEL 03-3212-0841 (代表)

税理士山口修会計事務所

税理士

山口修

(高高33年卒)

事務所 東京都北区赤羽1-37-13
城北ハイツ205
TEL 03-3903-4111

adc

株式会社エイデザインセンター
TEL 03-3809-0591

INOUE

井上美術印刷株式会社
TEL 03-3819-0821 (代)

代表取締役 井上 榮 (高高33年卒)

〒116-0001 東京都荒川区町屋1-4-9 FAX 03-3895-5367

歴史に名高い駒込寺

松本 栄

〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内一三六七

TEL 045-777-1166

井上 米輝子
(S45年卒)

高高35年卒

松木 恭一

●自己実現へのロマンス——いま、手軽なものに。 自分史出版のご案内

専門家や、技術スタッフ陣が
あなたの本づくりをゆたかに演出します。
東京支社長 池上 晴英(S45卒)

株式会社 **美巧社** 総合印刷・出版

東京支店 ● 東京都文京区小石川2-2-14 ☎(03)3813-8231 FAX(03)3813-8234
本社 ● 香川県高松市多喜町1-8-10 ☎(087)833-5811 FAX(087)834-1284
振出支店 ● 香川県松山市船町3-1-23 ☎(087)416-1005 FAX(087)416-1005
INEX支店 ● 香川県高松市常盤町2-6-17 ☎(087)831-0881 FAX(087)833-9839

岡崎・大橋・前田法律事務所

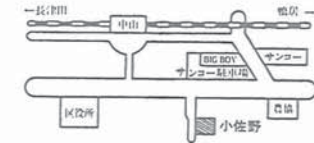
弁護士 岡崎 洋 (高高37年卒)

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-7 小川町メセナビル8F
TEL 03-5282-8615 FAX 03-5282-8617

小佐野歯科医院

小佐野 千重子 (45年卒)
(旧姓 林)

〒226-0011 横浜市緑区中山町68-1
TEL (045) 934-3003



HACL 平川音響株式会社

NTT 特約店
NTT テレカ代理店

取締役総務部長 平川 峰子 (42年卒)

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目12番12号 TEL.(03)3232-3001
FAX.(03)3232-8110

E-mail アドレス mineko-h@hacl.co.jp ホームページ http://www.hacl.co.jp
画像通信、監視カメラシステム等お気軽にご相談下さい。



太田製薬株式会社

埼玉県大宮市三条町51番地

TEL 048(623)3111 FAX 048(622)0691

代表取締役会長 渡辺 和彦 (昭和46年卒)

うれしい。なつかしい。

「あの一鶴」が横浜で食べられます。
一鶴「横浜西口店」へお友達やご家族と一緒にどうぞ



登録商標 曾付鳥 **一鶴**
横浜西口店 横浜市西区南幸2-15-1
TINOLビル6F
TEL 045-317-1708

営業時間 平日/11:00AM~2:00PM
5:00PM~12:00AM
土曜/11:00AM~12:00AM
日・祝/11:00AM~11:00PM
年中無休

www.ikkaku.co.jp



観光シンボル・キャラクター
「親切な青鬼くん」

53年卒香川県職員は、郷土香川の発展のために がんばっています!!

石野 高雄	大垣 英貴	大畑 善彦	奥平 剛	葛西(泉谷) 緑	倉岡(馬場) 伊都子
国分 伸二	齋藤 武司	鈴木(安藤) 佳代子	関元(池田) 真弓	高島 寛之	
高橋 克寿	佃 克己	長尾 美幸	永瀬 守俊	中原(米谷) 理栄	三木(溝淵) 里美
溝淵 祥明	宮崎 友樹	村尾 政彦	安松 延朗	山崎 隆	

通信・設備・土木工事で
四国のインフラを支える企業

快適生活提供企業=ハートフル"カナック"

株式会社 カナック
代表取締役社長 大西 大介 (昭和35年卒)

地元(香川)で働いてみませんか
詳細についてはホームページ、
または電話で確認して下さい。

〒761-0492 高松市三谷町136番地
TEL(087)889-8111 FAX(087)888-1115
ホームページ <http://www.kanac.co.jp>
E-mail info@kanac.co.jp
担当 総務部 阿部

インターネットのことならお任せ下さい

Webサイトの企画制作、開発、運用、
戦略コンサルティングなどトータルに対応

BEST PLANNING
Marketing Communication & Creative Agency

BEST PLANNING
株式会社 ベストプランニング

代表取締役社長 打越 暉芳 (高高38年卒)
〒102-0074
東京都千代田区九段南3丁目9番1号 5F
TEL: 03-3262-5678 (代表)
FAX: 03-3262-5567
E-mail: uchikoshi@bp-net.co.jp

森岡クリニック

外科・胃腸科・内科・肛門科
皮膚科・整形外科・アレルギー科

森岡 暁 (高高39年卒)

松戸市上本郷4384
TEL 047-361-3161

ひびき法律事務所

弁護士 小倉 良弘
(高高39年卒)

〒160-0004 新宿区四谷1-8 四谷一丁目ビル8階
TEL 03-3355-2268
FAX 03-3355-2308

時代を見つめ、明日を考える

讚州製紙株式会社

代表取締役社長 太田克己
資材部長 北山明彦 (高高53年卒)

〒760-0067 香川県高松市松福町1-12-3
TEL. 087-851-2822
FAX. 087-822-7552

「グローバルに考え、ローカルに行動する」
産業用設備機械総合商社

T/MEX
ティーメックス株式会社
S53年卒 古市雅俊
本社 高松市塩屋町12 ☎087(851)1051

大山内科 医院

診療時間 午前 8:30~12:00 午後 2:00~6:00
休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝・祭
香川県仲多度郡満濃町吉野1572-1 ☎(0877)79-3311

海老煎餅本舗
志保秀

本社 香川県観音寺市観音寺町甲2744-1
TEL(0875)63-2238(代) FAX63-2432
<http://www.shimahide.com>

歯内歯周専門室
宮下 歯科

歯周病専門医・歯内療法専門医
宮下裕志 (昭和53年卒)

☎107-0062 東京都港区南青山3-1-36 青山丸竹ビル4F
Tel.&Fax: 03-5785-0885
E-mail: scope@ebony.plala.or.jp
URL: www6.plala.or.jp/SCOPE

HONDA PRIMO

(株)ホンダオート香川
ホンダプリモ高松南

常務取締役 真鍋和裕 (S53年卒)

高松市鹿角町423-8 TEL. 087-868-1133 (代)

産婦人科・内科 母体保護法指定医

あんどろレディースクリニック

院長 安藤郁枝
(昭和53年卒)

〒153-0043 東京都目黒区東山3-2-4
ライオンズステーションプラザ4F
TEL. 03-5773-5470 FAX. 03-5773-5471
<http://www.andoladys.com>

整形外科 外科 リウマチ科
リハビリテーション科

医療法人社団研宣会
広瀬病院

院長 広瀬友彦 (昭和53年卒)

高松市松縄町35-3
TEL. 087-867-9911

郷土の味を全国へお届けする

栗林物産株式会社
〒761-8061 香川県高松市室町1901-1
TEL ☎0120-686-880
RITSURIN FAX ☎0120-681-950
昭和53年卒 安松武彦

青木動物病院

青木英晃

診療時間
午前 9:00~1:00 午後 5:00~8:00 往診 1:00~5:00
高松市東山崎町547-4 (水田マルナカ店東50m入る)
TEL (087) 847-8899

<p>日本筆跡診断士協会(会長 森田恒舟 高高27年卒) 理事・認定筆跡診断士 久保 醇治 (高高27年卒) 〒195-0061 東京都町田市鶴川4-28-16 TEL&FAX042-735-3646 本部 〒113-0034 文京区湯島3-8-9 松本ビル TEL:03-3837-7531 FAX:03-3837-7621</p>	<p>中村 歯科 医院 医院長 中村 彰男 —診療時間— 平日 AM10:00~PM1:00 PM2:30~PM7:00 ●但し、月・金はPM8:00まで、土はPM5:00までです。 休診日/木曜・日曜・祝日 横浜市瀬谷区橋戸3-62-12 TEL.045 (302) 8434</p>
<p>濱田 法律 事務所 濱田 清 (高高32年卒) 〒102-0093 千代田区平河町1の8の2 山京半蔵門パレスビル604 TEL 03-3221-6261</p>	<p>株式会社 ジャストシステム 代表取締役専務 浮川 初子 (旧姓:橋本 高高44年卒) 〒107-8640 東京都港区北青山1-2-3 TEL 03-5412-3900 FAX 03-5412-3910</p>
<p>宮 武 医院 宮 武 治 郎 (高高32年卒) 〒192-0914 八王子市片倉町1221-26 ☎ 0426-36-8317</p>	<p>株式会社 カニワトーキョ 代表取締役 岩井 耀子 (高高42年卒) 東京都港区南青山6-8-11 株式会社ウチダグレースビル1F (仮営業所) TEL 03-5774-5484</p>
<p>司法書士 行政書士 松尾和代 (高高42年卒) 事務所 〒254-0046 神奈川県平塚市立野町7番9号 電話 (0463)34-5000 FAX (0463)37-3555</p>	<p>フランス菓子 春風堂 香川県高松市丸亀町4-7</p>
<p> 松原耳鼻咽喉科医院 高松市川島東町字東下所518-1 TEL. 087-848-1100 松原一仁 53年卒</p>	<p>山崎公認会計士事務所 山崎 隆 重 (昭和48年卒) 〒760-0017 香川県高松市番町1-10-1 TEL 087-837-8961</p>
<p>医療法人社団 中山 歯科 医院 香川県さぬき市志度891-7 昭和53年卒 中山 慎二</p>	<p>セキヤ法律事務所 弁護士 関 谷 利 裕 (昭54年卒) 〒760-0029 香川県高松市丸亀町6-1 フェスタビル3F 電話 087-826-3880 FAX 087-826-3881</p>

<p>話せる英語から使える英語へ  英会話・翻訳・企業研修 言葉は心を伝える道具です。 皆様ご自身がその道具を上手に使いこなせるよう お手伝いいたします。 日本全国どこからでも承ります</p> <p>有限会社ベアーズコミュニケーションズ 本社 つくば市南郷2-25-18 tel/fax 0296-58-0208 代表取締役 奥村 真知 (50年卒) www.bearscom.com</p>	<p>(株)サカエヤ 取締役 木島 多加志 (昭和53年卒) 〒760-0054 高松市常盤町1-7-1 TEL 087(834)3500 FAX 087(834)0070</p>
<p>有限 丸八運送 会社 常務取締役 藤田 航並 (昭和53年卒) 香川県木田郡三木町大字池戸甲532番地2 TEL (087) 840-2508 FAX (087) 840-2518 http://www.comhachi.com</p>	<p>関元 歯科 関元直登 (S53年) 〒761-8064 香川県高松市上之町3丁目9-28 TEL/FAX. 087-867-7431</p>
<p>藤本邦人法律事務所 弁護士 藤本邦人 (昭和53年卒) 〒760-0033 高松市丸の内7番20号丸の内5ビル1階 TEL. 087-826-2111 FAX. 087-821-4422</p>	<p>●内科 ●外科 ●リハビリテーション科 協和 医院 高松市東山崎町165番地8 ☎087-847-6073</p>
<p> 歯科・矯正歯科・小児歯科 吉本 歯科 吉本 彰 宏 (S.53卒) 診療時間 09:30~19:00 休診日 日曜・祭日 外務線取駅下車 千代田区おゆみ野中央6-14-8 (トップマート前) ☎292-6480 ムシバセロ http://members.aol.com/YoshimotoD</p>	<p>生活設計塾 CLUE 「ペイオフ対策は?」「老後資金は?」 会員制のお金周りよろず相談所です。 無料体験相談実施中 TEL.03-5342-6250 昭和50年卒 内藤真弓(旧姓緒方) http://www.fp-clue.com</p>
<p>公認会計士 松原 治 郎 昭和53年卒 事務所 〒700-0023 岡山市駅前町2丁目4番10号 TEL.086-221-5585 FAX.086-225-3268 〒760-0028 高松市鍛冶屋町7番地4 7階 TEL.087-811-0015 FAX.087-811-0016</p>	<p>沼田法律事務所 弁護士 川西 秀樹 (昭和61年卒) 〒102-0093 東京都千代田区平河町1丁目4番12号 相互平河町ビルディング3F TEL 03-3262-3644 FAX 03-3262-3645</p>
<p>医療法人社団 慈恵会 田所 歯科 クリニック 田所 和 芳 〒229-1134 相模原市下九沢1737-11 電話 042 (763) 5670</p>	<p>祝 第20回東京玉翠会總會 高松市役所玉翠会</p>

医療法人財団 博仁会
キナシ大林病院

内科・外科・脳神経外科・整形外科・
泌尿器科・眼科・リハビリテーション科

大林 誠一 (理事長 昭和28年卒)
谷本 邦彦 (副院長 昭和31年卒)
鬼無 信 (内科部長 昭和43年卒)
美濃 睦水 (外科 昭和51年卒)
大林 公一 (心療内科 昭和53年卒)
川上 由佳 (内科 昭和60年卒)

〒761-8023 高松市鬼無町佐藤54-1
電話 087-881-3631 FAX 087-882-3539
<http://www.obayashihp.or.jp/>

Digital Development
& Interactive Media Design

HyRock

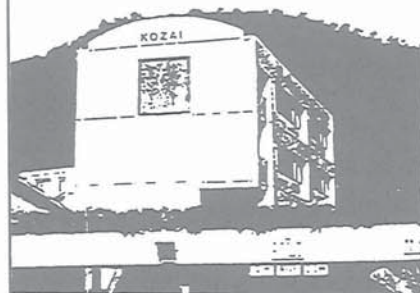
- デジタルコンテンツ企画・開発
- WEBシステム構築
- PCシステム開発

有限会社 ハイロック 小山宏記 (高松53年卒)

〒151-0071
渋谷区本町 2-33-20-404
TEL : 03-5334-7595 FAX : 03-5334-7596
e-mail : koya@hyrock.co.jp



KOZAI



総合建設業
株式会社 香西工務店

香川県高松市室町1919の1 TEL.(087)867-1875代 FAX.(087)867-1882

Speed Service Security
SANSHUSHA

総合印刷・情報処理
株式会社 三州社

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-21
TEL.03-3433-1481 FAX.03-3459-8595

もっと豊かでもっと素敵な
住空間を考えています。

祝
東京玉翠会第20回総会



東京高高昭和52年卒有志一同



おもしろいこと
いっぱい!



TAMAGAWA KINDERGARTEN

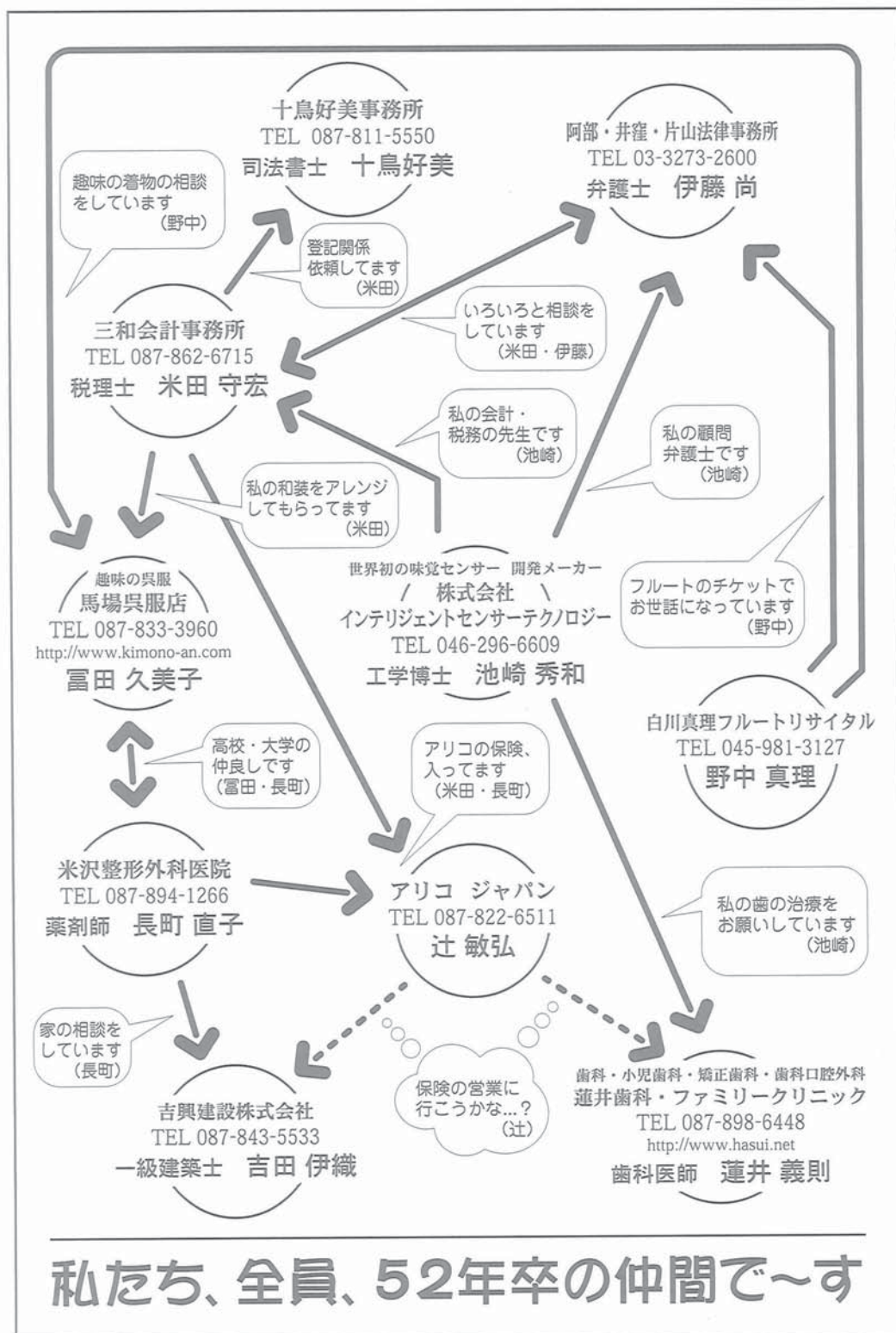
学校法人 多摩川学園
多摩川幼稚園
園長 濱川喜亘 (52年卒)

〒197-0825 東京都あきる野市雨間430番地 TEL.042-558-0218
ホームページ <http://www.inf-ca.co.jp/tamagawa/index.html>

別冊宝島

「私でも面白いほどわかる決算書」から
「低インシュリンダイエット」まで
なんでもそろえてございます。

別冊宝島編集長
松下光志 (昭和52年卒)



人と暮らしを潤す 「幸せな食創り」

食べる喜び、食の楽しさを満喫し、健康な日々を過ごしていただけるよう、「幸せな食創り」を企業理念に活動を続ける日本ハム。ハム・ソーセージをはじめ、いつも新鮮なおいしさがあふれる商品を通して、みなさまひとりひとりの幸せな食卓づくりをお手伝いしていきたいと考えております。



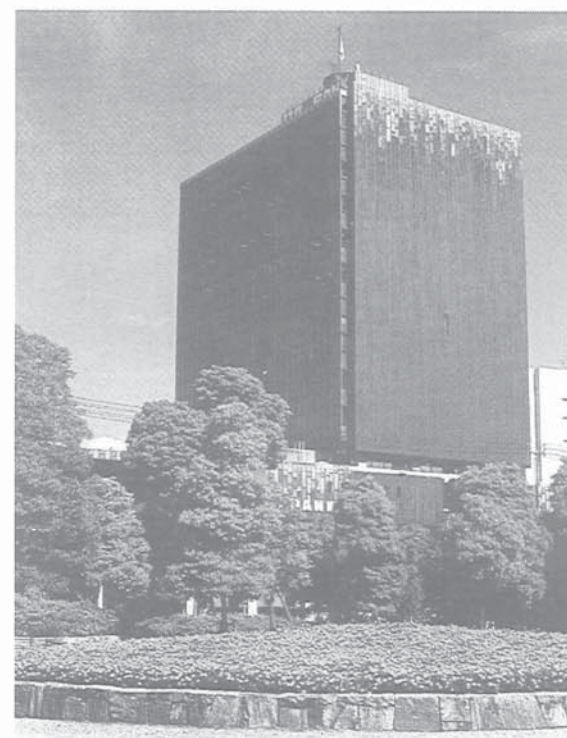
日本ハムグループは、幅広い分野で豊かな暮らしをサポートします。

ハム・ソーセージ事業	加工食品事業	惣菜事業	食肉事業
水産加工品事業	乳飲料事業	ドライフーズ事業	天然系調味料事業
保険事業	旅行事業	スポーツ事業	外食事業
情報処理事業	日本ハム(株)グループ全109社		

KEYMET
The firm belief for achievement

株式会社 キイメット / 〒105-0011 東京都港区芝公園2-9-8 公園ビル203 TEL.03-5402-7721

— 暮らしとビジネスの良きパートナー —



いい出会い ふくらむ未来
百十四銀行

本店 高松市亀井町5番地の1 Tel.087(831)0114
<http://www.114bank.co.jp>



Dramatic Scale

ダイナミック・ファーストクラス [V6 3500] NEW エルグランド

ELGRAND

SHIFT_the future



NEW エルグランド DEBUT Photo:エルグランド X (2WD) (オプション装着車) ボディカラーはシャンパンシルバー (TM) <#KX6> ■主要諸元:全長4795
 ×全幅1795×全高1920 (mm) VQ35DE 総排気量3,498L 最高出力177kW (240PS) /6000rpm 最大トルク353N・m
 (36.0kgm) /3200rpm マニュアルモード付フルレンジ電子制御5速オートマチック [5M-ATx] ●日産車のお問い合わせ・ご相談は「お客様相談室」フリーコール (携帯・PHSも対応) 0120-315-232 月～金 (祝日を
 除く) 9:00～12:00 13:00～17:00 ●土曜日祝日のお買物相談は「日産インフォメーションセンター」フリーコール (携帯・PHSも対応) 0120-838-232 土曜日祝
 日9:00～12:00 13:00～16:00 ●インターネットでクルマが買える!おクルマのご購入を検討中のあなたへ。日産累計盛からカービュー carview.co.jp へ今すぐアクセス!! www.nissan.co.jp



エルグランドは全車とも、平成12年排出ガス規制値に対して、
 NOx (窒素酸化物)、HC (炭化水素) の排出量を75%低減し、国
 土交通省より「超-低排出ガス車 (U-LEV)」の認定を受けました。



クルマに携帯電話を接続することで、様々な情報の取得やメール、ハンドフリーフォン、道案内
 を可能にする日産情報サービス「カーウイングス」。つながる楽しさと、安心・便利なドライブを
 提供いたします。●携帯電話は一部利用できない機種があります。また、サービスは有料となります。別途携帯電話の利用料金がかかります。

※日産自動車では、最も適した燃料を指定しております。指定以外の燃料をご使用になると、性能が十分発揮できなかつたり、思わぬ故障につながる恐れがありますので、必ず指定の燃料をお使い頂くようお願い致します。